

別書誌
合3冊

14.5

171

〇
複写

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5

始



14. 5-17イ



1200501211373

滿鐵調查資料第八十八編

南滿三港海運事情

南滿洲鐵道株式會社
庶務部調查課

リ
海
峯
本

凡
例

- 一、本篇は南滿三港(大連、營口、安東)海運事情の統計的研究にして、貨物の動態、船舶の出入並に當業者の三方面から考察したものである。
- 二、凡そ海運事情の研究考察には三様の見地ありと思惟される。その一は海運政策なる國家的立場から、その二は海運經營なる企業の見地から、その三は交通事情なる經濟地理的觀點からである。而して本研究の立場に就ていへば略々右の第三點に立脚し滿蒙の經濟的發展に對する南滿三港の地位を明かにせんとしたにある。
- 三、南滿三港の實勢が大連、營口、安東の順位にあることは周知の事實である。而もそれが如何なる内容によつて又如何なる程度に於て然るかの適確な資料に至つては甚だ乏しい。本篇は之に對する貧しき一燈たらんことをも期した。唯内容に於て資料の關係上記述の精粗一ならざるは洵に不本意なれど他日補訂の機を得たいと思ふ。
- 四、擔當者 課員 夷石隆壽。

昭和三年十月



庶務部調査課

凡
例

14.5
171

175-174

南滿三港海運事情

目次

第一章 海運貨物	一
第一節 大連港の海運貨物	二
第一項 總況	二
第二項 仕向地及仕出地の概観	八
第三項 主要貨物と仕向地仕出地の關係	三〇
第四項 貨物輸送系統	四〇
第二節 營口港の海運貨物	四一
第三節 安東港の海運貨物	四四
第二章 船腹	四七
第一節 大連港の船舶狀況	四七

第一項 定期航路現況……………四七

第二項 不定期船狀況……………五三

第二節 營口港の船舶狀況……………六八

第三節 安東港の船舶狀況……………七五

第三章 海運業者……………七八

第一節 大連港の海運業者……………八〇

第二節 營口港の海運業者……………一二五

第三節 安東港の海運業者……………一三二

南滿三港海運事情

第一章 海運貨物

南滿三港の海運的地位の考察に當つて最も重要な一項をなすものは海運貨物に関する研究であらう。蓋し交通現象の内容は輸送の目的物、即ちその客體にあるからである。而して海運に於ける輸送の客體は所謂船客 (Passenger) 竝に貨物又は荷物 (Cargo) である。

近時、船客營業はその企業的重要さに於て必ずしも貨物輸送のそれに譲らない。かの世界海運諸國の優秀船が安全、迅速、正確、快適等船客の一般的希望條件を可及的に充足せんが爲め、巨船の建造、船内設備の完備結構に腐心し所謂「浮べる宮殿」(Floating Palace) を實現せる所以のものは實に這般の消息を物語るものである。殊に船客輸送の文

明的意義に就いては改めてこゝに呶々を要しないところである。然し乍ら、經濟的觀點に於て海運現象を考察する時、その對象として貨物輸送に関する諸相がより重大なる要素となることは否めない。洵に貨物移動の方向、時期、種類竝に數量に関する自然的又は人爲的諸現象こそは海上交通の諸系統を鮮明ならしむる素材である。

而して貨物移動の現象を商業的に取扱えば貿易事情そのものに外ならないが、本章に於ては之を交通運輸の方面から概観し以後章船腹竝に當業者との相關的事情を明かにしたいと思ふ。

大連港は滿蒙物資の一大吞吐港として逐年顯著なる發展をなし、開港後僅か二十年にして既にその商港的地位は確立され貨物の集散頗る盛況を呈するに至つた。その吞吐總量は別表に示すが如く輸出に於て五百萬噸輸入に於て一百万噸を突破し合計七百萬噸に垂んとしてゐる。

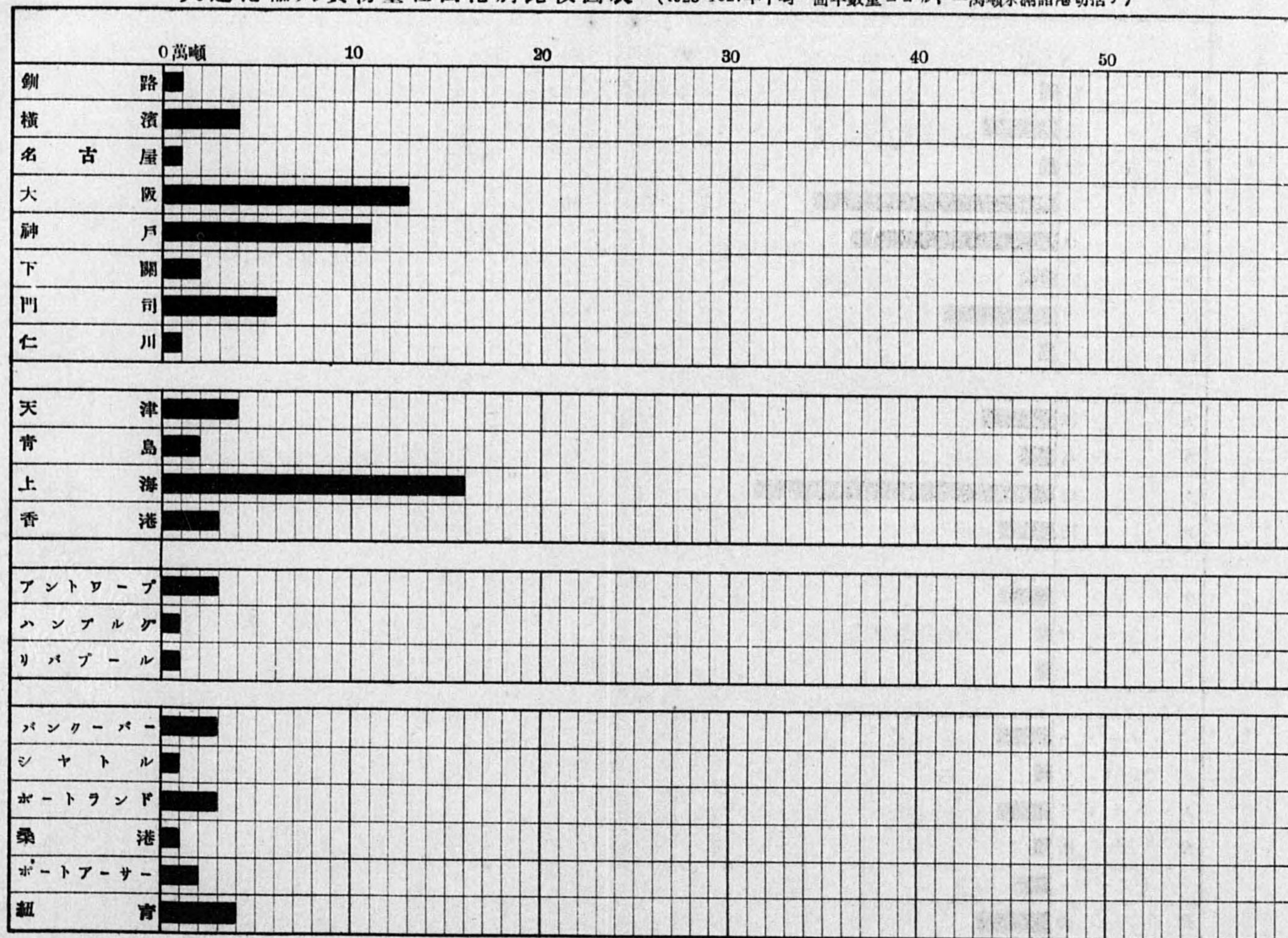
輸出高と輸入高が甚だ不均衡にして輸出數量の輸入數量を凌駕すること遙かに大なるは大連港が原料品の大量輸出港たる特色を明示するもので、將來大連港を基點とする海運の發展策上留意すべき要點であらう。

次に是等巨大量の貨物集散方向を檢すれば輸出に於ては最初の過半は對日本方面之を占め、殘餘の半は對支那方面に屬し、南洋濠洲歐米各港に仕向けられるものは全體の約一割に當る。その何れの方面について見るも過去十箇年の趨勢は躍進的増量を示し、就中南洋濠洲歐米方面向に於てこの傾向の著しいのは滿洲特産品の市場擴大を物語ると共に大連港が海運上の地位をそれ丈け向上し得た證左でもある。

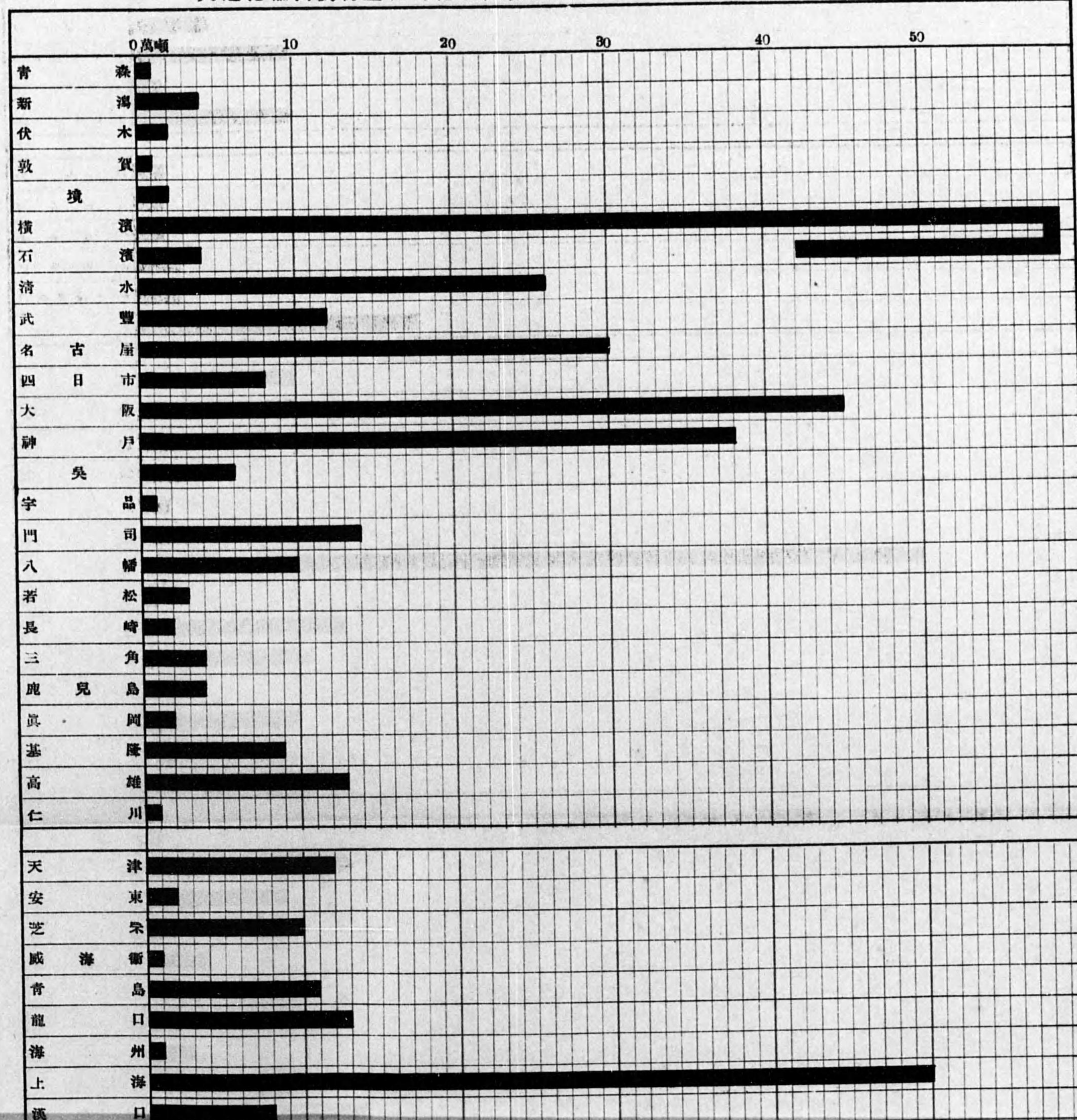
更に以上の諸方面中比較的大量の輸出關係ある諸港を列擧すれば次の如くで、その數量的比較に就ては別表（大連港輸出貨物量仕出港別比較圖表）を参照されたい。

一、真日本方面——青森、新潟、伏木、敦賀、境

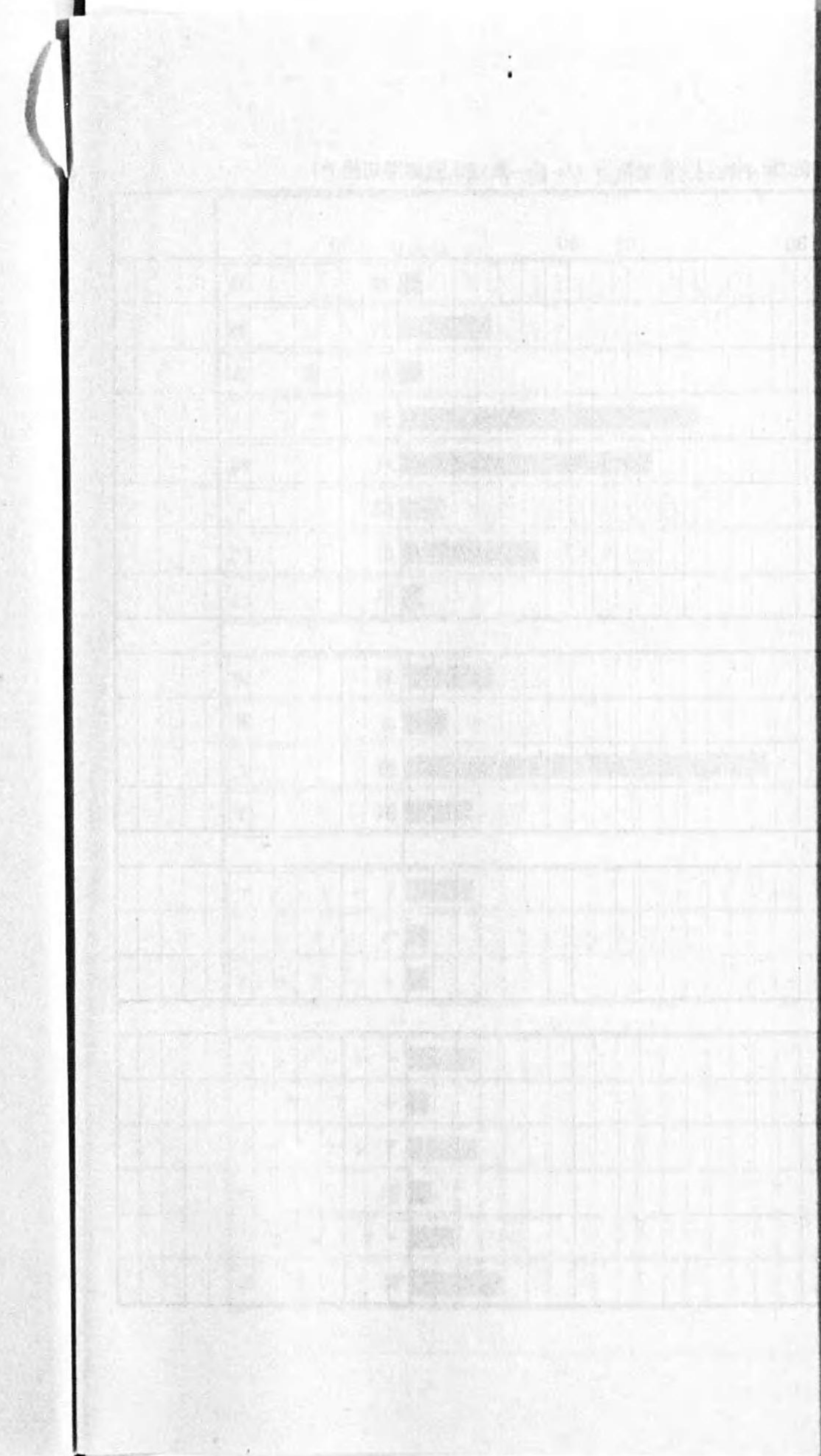
大連港輸入貨物量仕出港別比較圖表 (1923-1927年平均一箇年數量ニヨル、一萬噸未満諸港切捨テ)



大連港輸出貨物量仕向港別比較圖表 (1923-1927年平均一箇年數量ニヨル、一萬噸未満諸港ヲ除ク)



真	岡	
基	隆	
高	雄	
仁	川	
天	津	
安	東	
芝	罇	
威	海	
青	島	
龍	口	
海	州	
上	海	
漢	口	
興	化	
厦	門	
汕	頭	
香	港	
廣	東	
マ	ニ	ラ
シ	ン	ガ
ボ	ー	ル
パ	タ	ビ
サ	マ	ラ
ス	ラ	バ
ウ	ヤ	バ
ポ	ー	ト
サ	イ	ド
ト	リ	エ
ス	ト	
ロ	ッ	テ
ル	ダ	ム
ハ	ン	ブ
ル	グ	
ハ	ル	
ロ	ン	ド
ン		
シ	ヤ	ト
ル		
サ	ン	フ
ラ	ン	シ
ス	コ	
ニ	ュ	ー
ヨ	ー	グ



- 二、東北太平洋岸方面——横濱、石濱
- 三、清水、伊勢灣方面——清水、武豊、名古屋、四日市
- 四、阪神瀬戸内海方面——大阪、神戸、吳、宇品
- 五、九州方面——門司、八幡、若松、長崎、三角、鹿児島
- 六、北海道樺太方面——真岡
- 七、臺灣方面——基隆、高雄
- 八、朝鮮方面——仁川
- 九、北支那方面——天津、安東
- 十、山東方面——芝罘、威海衛、青島、龍口
- 十一、中部支那方面——海州、上海、漢口
- 十二、南部支那方面——興化、廈門、汕頭、香港、廣東
- 十三、南洋及濠洲方面——マニラ、シンガポール、バタビヤ、サマラン、スラバヤ、ジャバ
- 十四、近東歐洲方面——ポートサイド、トリエスト、ロツテルダム、ハンブルグ、ハル、ロンドン
- 十五、北米方面——シヤトル、サンフランシスコ、ニューヨーク

大連港輸出貨物量方面別表

(單位米噸)

方面別 年次	日本						諸港			樺太北海道	臺灣	朝鮮	總計					
	日本海岸	東太平洋岸	北太平洋岸	清伊勢灣	水戸	阪瀨戸内海	九州	合計	樺東露					南洋及 深洲	歐羅巴	北太平洋	大西洋	
1927	144,564	842,454	623,400	988,761	476,678	3,075,857	37,834	235,768	69,442									
1926	126,610	749,047	612,975	879,521	390,681	2,758,834	26,514	239,808	49,795									
1925	130,534	770,478	683,045	814,976	364,498	2,763,531	27,226	257,481	44,912									
1924	103,630	837,683	729,522	827,571	338,368	2,836,774	30,651	218,240	38,349									
1923	110,087	700,276	616,948	874,363	295,481	2,597,105	3,699	170,629	78,993									
1922	56,047	653,993	413,802	620,203	318,007	2,062,052	2,433	141,143	69,987									
1921	31,542	579,775	413,997	524,952	244,544	1,794,810	2,266	139,732	54,877									
1920	14,723	504,766	300,832	685,172	210,779	1,716,272	4,841	152,306	92,233									
1919	14,571	596,881	395,692	700,776	194,011	1,901,931	5,426	111,743	118,411									
1918	39,009	490,884	273,485	543,411	160,752	1,507,541	13,886	81,013	88,119									
1917	3,809	384,577	159,688	377,551	121,842	1,047,767	3,891	85,246	83,864									
1916	19,684	289,446	164,272	300,372	86,913	860,687	1,933	102,060	56,480									
1915	14,800	294,564	187,013	272,637	79,090	848,104	1	85,921	50,073									
1914	53,431	292,315	190,083	235,198	96,824	867,881	5,852	78,912	45,944									
1913	95,420	371,709	197,542	171,705	75,928	912,304	1	60,720	64,252									
1912	24,171	199,354	125,157	211,815	47,264	607,761	13	43,397	58,698									
	支那諸港合計											樺東露	南洋及深洲	歐羅巴	北太平洋		大西洋	總計
1927	47,594	435,566	898,996	529,818	1,911,974	155	347,048	603,622	44,502	14,986	6,341,188							
1926	233,933	254,415	785,853	361,221	1,625,422	135	317,717	370,638	43,964	13,814	5,446,641							
1925	269,926	269,205	737,771	282,286	1,559,188	116	312,529	297,982	53,295	11,005	5,227,295							
1924	92,321	147,441	216,974	264,989	721,725	76	307,659	360,228	36,887	16,433	4,576,082							
1923	61,213	243,408	477,455	190,058	972,134	3,222	285,743	252,060	37,662	21,865	4,423,112							
1922	80,013	277,698	750,557	224,976	1,333,244	1,431	228,444	203,670	25,680	13,347	4,081,431							
1921	124,554	125,987	251,126	142,748	644,365	407	187,840	381,073	40,083	5,291	3,250,744							
1920	67,729	91,935	140,471	117,790	417,925	6,203	59,311	524,698	87,742	3,105	3,064,636							
1919	20,352	82,877	54,330	66,168	223,727	3,215	25,190	297,429	112,810	13,274	2,813,156							
1918	41,691	174,407	117,187	115,531	448,816	436	90,681	14,349	246,313	—	2,491,154							
1917	26,989	219,424	153,687	206,576	636,686	166	98,724	40,967	158,192	85	2,155,588							
1916	13,576	105,987	125,787	187,706	433,056	2,413	125,846	115,279	30,270	3,500	1,731,524							
1915	17,655	120,376	229,354	189,841	557,226	6,648	100,555	79,393	—	4,885	1,732,806							
1914	18,919	69,303	99,178	131,229	318,629	11,988	205,919	57,874	—	5,837	1,598,816							
1913	27,607	100,705	102,281	124,666	355,259	7,753	146,651	34,937	—	3,969	1,585,846							
1912	7,714	54,581	93,651	134,145	290,091	5,787	53,798	33,882	—	63	1,093,490							

輸入約百萬噸の流入方向は大體輸出に於けるとひとしく日本内地、支那諸港、其他外國諸港の順位にあり、貨物の量的比較に於ける各港の順位に就いても輸出の場合と大差ないが、唯日本内地中、裏日本との關係稀薄なること及輸出方向に於ては歐洲向は米國向より大量なるに輸入方向はその地位逆なる點、尙又樺太、北海道、朝鮮、臺灣各植民地との輸出入關係に多少趣の異なるを見る。即ち樺太、北海道方面よりは輸入量大にして輸出生少なく臺灣、朝鮮へ

第二項 仕向地及仕出地の概観

大連港海運貨物の總體的觀察は第一項に述べたる如くであるが、本項は仕向、仕出各方面との關係を検討しやう。

(一) 仕向地としての諸方面

一、裏日本諸港

裏日本諸海に仕向けらるゝ貨物の主要なるものは豆粕、石炭、大豆、鹽等にて、就中豆粕は總量の過半を石炭は残りの半數を占めてゐる。

仕向地の主なるものは、青森、新潟、伏木、敦賀、境、酒田等。

二、東北太平洋方面

この方面の輸出は殆んど總て横濱一港の占むる處にして石濱港に三萬噸餘の豆粕が仕向けられるに過ぎない。横濱港に仕向けらるゝ主要貨物は、石炭を筆頭に豆粕、大豆、雜穀、鉄鐵等で年八十萬噸餘に上る。

三、清水伊勢灣方面

主要仕向港は名古屋、清水、武豊、四日市。

主要仕向貨物は石炭、大豆、豆粕、石炭の輸出量は全體の五割内外に當る。

四、阪神瀬戸内海方面

この方面への輸出の約九割は阪神兩港の占むる處で、兩港共その主要貨物は石炭、大豆、豆粕、雜穀、金物等であ

るが、その數量的割合は兩者必ずしも同一でない。大阪は石炭の輸入(大連より)一頭群を抜いて居り金物二位を占め大豆、豆粕、雜穀等は石炭に比すれば實に微々たる少量に過ぎない。神戸港への仕向貨物は豆粕と石炭略々等量にて大豆及雜穀も亦相當量を占めてゐる。

五、九州方面

この方面に仕向けられる主要貨物は石炭、豆粕、大豆、金物の中、石炭の九割は八幡に、豆粕は門司、長崎、三角、鹿兒島に、金物は八幡、若松に輸入される。

六、樺太北海道

樺太へは眞岡に向け二萬噸内外の石炭輸出あるのみにて北海道小樽函館向豆粕も言ふべき程度ではない。

七、臺灣方面

基隆高雄向豆粕の輸出が最も主要なる貨物で大豆は之れに次ぐ、其の他は石炭一萬噸内外を高雄に仕向けらるゝのみ。

八、朝鮮方面

朝鮮仕向貨物内容は石炭稍多きも、之とて其の他の貨物との相對量に於て然るのであつてその絶對量に於ては必ずしも特筆に値しない。殊に相當多量朝鮮へ移出さるべき滿洲特産品が海運貨物としては殆んど云ふに足りないのは運賃に關連する一問題たるを失はぬ。

航路關係に於て大連港と最も交渉多き仁川港すら仕向總貨物量二萬噸内外に過ぎず而も中石炭がその過半を占め其

の他貨物に於ては粟を主とする雜穀及鹽等である。朝鮮主要港と仕向貨物量の狀況は別表示すが如くである。

九、北支那方面

此の方面に於て仕向量の最も多きは天津で高粱包米等支那民衆の常食用雜穀を最とし石炭も主要仕向品の中に數へらる。牛莊、安東向極めて微々たるは大連港と殆んど同一物資を吞吐し、その補助的地位にある兩港としては寧ろ當然であると謂ふべきであらう。唯安東へは石油の移出が多い。

十、山東諸港

一葦帯水の間にある山東諸港は地理的に見ても交易關係の密接なるべきは言を俟たない。大連港よりこの方面向の出貨は漸増傾向にあるが、主要貨物は石炭、大豆、高粱、包米その他雜穀にして滿洲に於ける生産物である。大連港が北支那に於ける外國品の仲繼港として渤海沿岸をその傘下に收むることは未だ前途遼遠と言ふべきである。試みに青島日本商業會議所調査にかゝる昭和二年度に於ける外國品の沿岸諸港より青島輸入額を見るに上海の五百九十五萬海關兩に對し大連は僅かに三十萬海關兩にしてその一割にも及ばない状態である。日本内地と直接航路を有し、その他外國船の寄港に便なる青島港を除外するも大連港對山東諸港との關係は看過するを得ない。

十一、中部支那諸港

中部支那諸港に仕向けらるゝ貨物としては石炭あるのみであるが、唯上海に對しては石炭以外大豆、豆粕、高粱、包米等の滿洲特産品も相當大きな部分を占めてゐる。こゝに注目すべきは隴海鐵道の終端港としてその將來を囑目されつゝある海州港に就てである。同港は江蘇省球河の南岸に位し隴海線の東部終點に當る青島上海間の要港であるが河

南、陝西、甘肅の奥地を背後地とし、從來上海より漢口經由河南陝西地方に入りし洋貨類及是等奥地より漢口經由にて出で來れる土貨類の輸送經路に一大脅威を與へんとしてゐる。唯現在の實際問題としては海州經由は戰禍、土匪、海賊の出沒の爲その有利なる位置を利し得べくもないが「既に隴海全線をその掌中に收め海州の占有に垂涎措く能はざる馮玉祥氏が國民政府諒解の下に同地を確保せんか、經濟的手腕に富む同氏は萬難を排して海州の海港的設備の完成に努力し以て隴海鐵道の終點として將又自己唯一の海港としての價値を發揮せしむるに至らん」との觀測は必ずしも一片の空想なりと云ふを得ない。

十二、南支諸港

南支方面の主要仕向港は廣東、香港、汕頭、廈門、泉州、興化で、主要貨物は石炭、大豆、豆粕であるが、貨物と仕向港との關係は一様でない。即ち廣東、香港向は石炭、大豆を主とし殊に香港の如きは豆粕の仕向皆無であるが、之に反し汕頭、廈門、泉州、興化等は豆粕を以て大宗とし大豆之に次ぐ状態にて石炭の如きは稀に出貨されるのみである。

十三、浦鹽方面

浦鹽方面向船舶にして大連に寄港するものはあるが、仕向貨物は稀に仲繼商品少量あるのみで殆んど皆無と云ふことが出来る、この點背後地を同うし従つて仕向貨物をも同うする兩港は寧ろ對立關係にあるのであるから敢えて贅言を要しないであらう。

十四、印度南洋方面

マニラ、新嘉坡は石炭の仕向地として、パタビヤ、サマラン、スラバヤは大豆の仕向地として、滿洲物資の重要な販消路である。

十五、近東歐羅巴諸港

この方面には大豆、豆油を主要貨物とし、近東に於ける仲繼港はポートサイドである。ロツテルダム、ハンブルグ、ロンドン等に仕向けられるものが多い。

十六、北 米

この方面仕向貨物中の宗たるものは豆粕、豆油である。主として太平洋岸のシヤトル、桑港に仕向けられ、大西洋岸に於ては紐育回豆油の出貨あるのみ。

真日本諸港仕向貨物噸數(米噸)

	青	森	新	鴻	伏	木	敦	賀	境	酒	田	其	他	合	計
豆	最近五箇年平均	9,238	29,442	7,445	9,890	5,957	2,781	4,670	69,416						
	1927年	10,933	36,964	—	7,548	2,737	—	7,352	65,534						
石	最近五箇年平均	—	15,559	3,597	3,412	12,335	344	4,714	39,961						
	1927年	—	15,823	13,135	1,109	16,790	—	851	47,708						
大	最近五箇年平均	808	2,572	750	790	209	1,153	397	6,679						
	1927年	2,381	3,882	1,616	97	—	—	324	8,300						

種	最近五箇年平均	1927年	最近五箇年平均	1927年	最近五箇年平均	1927年	最近五箇年平均	1927年	最近五箇年平均	1927年	最近五箇年平均	1927年
鹽	—	1,595	—	1,831	—	—	—	—	—	—	—	—
其	最近五箇年平均	396	2,810	2,563	521	125	22	258	5,373			
	1927年	1,173	1,459	4,053	732	5	—	584	6,884			
合	最近五箇年平均	10,432	2,143	13,012	14,613	18,626	4,303	10,039	17,949			
	1927年	14,487	61,622	30,326	9,486	19,532	—	9,111	126,316			
計												144,564

備考 最近五箇年平均(1923—1927年の算術平均)なり。下表皆同じ。

東北太平洋岸諸港仕向貨物噸數(米噸)

	横	濱	石	炭	其	他	合	計
石	最近五箇年平均	427,729	405,002	—	—	1,486	429,215	
	1927年	—	91,146	820	—	5,163	410,165	
大	最近五箇年平均	86,417	259,807	33	—	—	91,966	
	1927年	—	201,090	35,552	—	—	86,450	
豆	最近五箇年平均	201,090	30,693	13	—	—	295,359	
	1927年	—	40,014	—	—	—	233,978	
雜	最近五箇年平均	29,626	—	—	—	—	30,706	
	1927年	—	—	—	—	—	40,014	
金	最近五箇年平均	38,959	—	—	—	—	29,626	
	1927年	—	—	—	—	—	38,959	

按1等 種類別		1等	
其他	最近五箇年平均 1927年	29,451 32,855	34 —
合計	最近五箇年平均 1927年	868,452 804,337	36,419 32,921
		119 33	1,605 5,196
		29,604 32,888	906,476 842,454

備考 金物の大部分は鉄鐵なり。

清水伊勢灣方面諸港仕向貨物噸數 (米噸)

	清	水	武	豐	名古屋	四日市	其他	合計
炭	最近五箇年平均 1927年	144,160 85,277	18,455 20,890	178,762 272,926	20,290 34,147	7,586 12,631	360,253 425,871	
大豆	最近五箇年平均 1927年	67,529 47,865	32,257 14,400	19,232 11,503	9,545 8,664	— —	128,563 82,432	
豆	最近五箇年平均 1927年	41,955 32,115	58,252 35,585	80,571 63,460	37,690 32,135	— —	218,468 163,295	
其他	最近五箇年平均 1927年	9,143 12,730	10,735 5,865	21,984 19,158	15,030 14,049	— —	56,892 51,802	
合計	最近五箇年平均 1927年	262,787 177,987	119,699 76,740	300,549 367,047	82,555 88,995	7,586 12,631	773,176 723,400	

阪神瀬戸内海諸港仕向貨物噸數 (米噸)

	大	阪	神	戸	吳	宇	品	下	關	其他	合計
炭	最近五箇年平均 1927年	339,039 394,704	90,624 117,313	50,323 106,822	784 —	— —	— —	— —	4,733 2,348	485,563 621,687	
大豆	最近五箇年平均 1927年	3,985 2,641	50,429 30,846	— —	947 455	316 372	5,508 320	— —	5,508 320	61,185 34,634	
豆	最近五箇年平均 1927年	8,249 4,991	167,395 92,933	— —	7,902 9,965	769 364	8,742 19,433	— —	8,742 19,433	193,057 127,686	
雜穀	最近五箇年平均 1927年	5,434 8,397	24,521 36,379	— —	1,607 1,342	1,077 1,196	400 898	— —	400 898	33,039 48,112	
金	最近五箇年平均 1927年	56,426 69,169	6,801 9,168	4,844 2,355	134 1	9 —	48 238	— —	48 238	68,362 80,831	
其他	最近五箇年平均 1927年	38,164 34,743	35,397 35,415	24 70	1,738 1,492	1,916 1,821	801 2,270	— —	801 2,270	78,030 75,811	
合計	最近五箇年平均 1927年	451,297 514,645	375,157 322,054	55,191 109,147	13,112 13,155	4,087 3,753	20,292 26,007	— —	20,292 26,007	919,136 988,761	

九州諸港仕向貨物噸數 (米噸)

	門	司	八	幡	若	松	長	崎	三	角	鹿	兒	島	其他	合計
炭	最近五箇年平均 1927年	12,928 17,681	88,059 163,905	7,282 7,473	— —	7 —	— —	— —	155 —	— —	— —	— —	— —	— —	103,431 189,149

按1等 種類別

1等

第一節 雜糧試驗

十次

大豆	最近五箇年平均 1927年	9,338	—	—	13,036	1,543	1,735	10,340	216	36,308
大豆	最近五箇年平均 1927年	6,493	—	—	—	1,752	634	13,749	231	23,859
雜糧	最近五箇年平均 1927年	85,059	—	—	1,251	13,456	38,225	9,366	15,104	163,461
穀類	最近五箇年平均 1927年	64,888	—	—	152	13,999	35,674	10,307	20,454	145,474
其他	最近五箇年平均 1927年	4,407	—	—	62	1,992	1,692	2,490	120	10,763
金	最近五箇年平均 1927年	6,299	—	—	244	1,988	1,996	2,405	196	13,128
其他	最近五箇年平均 1927年	13,886	7,901	—	9,827	1,309	1	—	—	32,924
合計	最近五箇年平均 1927年	5,232	36,506	—	29,478	1,618	—	15,008	1,021	72,834
	最近五箇年平均 1927年	11,763	4,192	463	197	2,442	776	16,379	97	35,396
	最近五箇年平均 1927年	12,178	—	—	49	3,240	838	—	—	33,234
	最近五箇年平均 1927年	137,381	95,152	31,655	20,749	42,429	37,359	42,840	16,461	381,166
合計	最近五箇年平均 1927年	112,771	200,964	37,396	22,597	39,132	—	—	20,978	476,678

樺太北海道諸港仕向貨物噸數 (米噸)

石	炭	最近五箇年平均 1927年	15,710	—	—	—	—	112	15,892
石	炭	最近五箇年平均 1927年	22,347	—	4,859	716	—	—	22,347
大豆	粕	最近五箇年平均 1927年	—	—	7,924	642	—	—	5,575
其他		最近五箇年平均 1927年	41	—	853	2,341	—	1,769	8,566
合計		最近五箇年平均 1927年	1,931	—	—	5,230	—	—	5,004
合計		最近五箇年平均 1927年	15,751	5,712	3,057	1,881	—	—	26,401
		最近五箇年平均 1927年	22,347	9,615	5,872	—	—	—	37,834

臺灣方面諸港仕向貨物噸數 (米噸)

石	炭	最近五箇年平均 1927年	—	—	—	14,650	7,559	—	14,650
石	炭	最近五箇年平均 1927年	—	—	—	7,559	—	—	7,559
大豆	粕	最近五箇年平均 1927年	2,221	20,663	15,754	6,273	—	—	29,157
其他		最近五箇年平均 1927年	316	15,754	60,662	11,623	—	—	27,693
合計		最近五箇年平均 1927年	4,704	60,662	103,487	108,949	—	—	168,853
		最近五箇年平均 1927年	1,280	59,582	108,949	4,405	—	—	169,211
		最近五箇年平均 1927年	145	8,563	22,047	9,226	—	—	31,305
		最近五箇年平均 1927年	32	89,888	128,815	—	—	—	225,773
合計		最近五箇年平均 1927年	7,070	97,683	136,457	—	—	—	235,768

朝鮮方面諸港仕向貨物噸數 (米噸)

石	炭	最近五箇年平均 1927年	7,259	3,875	1,530	2,534	—	12,671	1,451	16,549
石	炭	最近五箇年平均 1927年	7,508	19,376	—	—	—	—	7,255	46,810
合計		最近五箇年平均 1927年	—	—	—	—	—	—	—	—

第一節 雜糧試驗

十次

第一卷 雜項試驗

一六

其他	最近五箇年平均 1927年	1,102	10,606	16,028	—	—	667	1,139	13,574
共	最近五箇年平均	1,357	16,028	14,481	1,530	—	1,857	3,390	22,632
合	最近五箇年平均	8,421	14,481	35,404	—	—	3,201	2,500	30,223
計	1927年	8,865	35,404	—	—	—	14,528	10,645	69,442

北支那方面諸港仕向貨物噸數 (米噸)

炭	天	津	秦	島	牛	莊	安	東	其	他	合
最近五箇年平均	5,112	—	—	—	—	—	12,902	—	59	18,073	
1927年	5,746	—	—	—	—	—	—	—	67	5,813	
最近五箇年平均	49,138	104	—	—	—	—	—	—	—	49,242	
1927年	9,931	—	—	—	—	—	—	—	—	9,931	
最近五箇年平均	7,362	26	—	—	—	—	46	—	—	7,434	
1927年	1,539	—	—	—	—	—	32	—	—	1,571	
最近五箇年平均	37,271	13	—	—	—	—	—	—	—	37,284	
1927年	5,107	—	—	—	—	—	—	—	—	5,107	
最近五箇年平均	22,722	2,442	—	—	2,260	—	8,439	—	4,480	40,343	
1927年	6,086	2,442	—	—	2,878	—	11,496	—	2,270	25,172	
最近五箇年平均	121,605	2,585	—	—	2,260	—	21,387	—	4,539	152,376	
1927年	28,409	2,442	—	—	2,878	—	11,528	—	2,337	47,594	

山東方面諸港仕向貨物噸數 (米噸)

炭	登	州	芝	罈	威海	青	島	龍	口	其	他	合
最近五箇年平均	3,302	61,932	—	—	5,505	—	21,759	—	115,638	—	8,602	216,738
1927年	4,396	87,236	—	—	7,454	—	35,365	—	13,696	—	13,219	161,366
最近五箇年平均	80	4,604	—	—	17	—	4,197	—	1,308	—	639	10,745
1927年	31	9,807	—	—	68	—	4,148	—	2,163	—	704	16,921
最近五箇年平均	217	1,957	—	—	242	—	49,156	—	3,228	—	2,318	57,118
1927年	180	3,303	—	—	201	—	112,614	—	3,369	—	4,529	124,196
最近五箇年平均	26	1,058	—	—	62	—	336	—	307	—	34	1,823
1927年	10	1,826	—	—	88	—	569	—	876	—	3	3,372
最近五箇年平均	1,125	4,678	—	—	230	—	10,470	—	1,722	—	1,006	19,231
1927年	1,432	10,141	—	—	163	—	22,117	—	1,648	—	3,040	38,541
最近五箇年平均	24	1,865	—	—	150	—	1,799	—	2,698	—	120	6,656
1927年	45	6,550	—	—	255	—	4,285	—	12,780	—	537	24,452
最近五箇年平均	106	648	—	—	17	—	686	—	1,575	—	11	3,043
1927年	40	1,354	—	—	30	—	496	—	1,031	—	30	2,981
最近五箇年平均	584	19,041	—	—	4,902	—	24,638	—	8,430	—	1,390	58,985
1927年	395	17,605	—	—	9,051	—	29,182	—	5,601	—	1,903	63,737
最近五箇年平均	5,464	95,783	—	—	11,125	—	113,041	—	134,806	—	14,120	374,339
1927年	6,529	137,822	—	—	17,310	—	208,776	—	41,164	—	23,965	435,566

中部支那方面諸港仕向貨物噸數 (米噸)

第一卷 雜項試驗

一七

	海	州	上	海	漢	口	寧	波	其	他	合
石											
炭	最近五箇年平均 1927年	6,735	—	228,837	78,414	—	9,480	—	45,329	—	368,795
大豆	最近五箇年平均 1927年	7,331	26	407,464	64,062	20	3,310	—	47,542	7	529,699
豆	最近五箇年平均 1927年	—	—	96,711	—	—	—	—	33	—	96,764
精	最近五箇年平均 1927年	—	—	146,151	—	—	24	—	122	—	146,184
高	最近五箇年平均 1927年	—	—	38,696	—	—	122	—	608	—	38,812
包	最近五箇年平均 1927年	3,393	—	75,171	—	—	7	—	—	—	75,901
米	最近五箇年平均 1927年	9,626	—	64,689	387	—	—	—	—	—	69,076
セメント	最近五箇年平均 1927年	3,354	2,709	49,544	—	—	—	—	—	—	59,170
其他	最近五箇年平均 1927年	—	—	23,900	78	—	—	—	—	—	27,332
計	最近五箇年平均 1927年	197	—	11,309	—	—	—	—	—	—	14,018
	最近五箇年平均 1927年	198	—	9,880	312	—	—	—	—	—	10,192
	最近五箇年平均 1927年	198	—	10,623	—	—	—	—	—	—	10,623
	最近五箇年平均 1927年	198	—	39,213	1,594	—	257	—	356	—	41,617
	最近五箇年平均 1927年	198	—	57,180	4,335	—	464	—	1,224	—	63,401
	最近五箇年平均 1927年	14,305	—	501,896	80,805	—	9,768	—	45,814	—	652,588
	最近五箇年平均 1927年	19,854	—	757,442	68,397	—	3,896	—	49,407	—	898,996

南支方面諸港任向貨物噸數 (米噸)

	福	興	泉	厦	汕	香	廣	其	合	
石										
炭	最近五箇年平均 1927年	237	—	—	1,295	2,152	61,412	46,559	13,256	124,912
大豆	最近五箇年平均 1927年	1,061	2,270	1,034	4,611	6,270	104,209	64,873	33,012	212,975
精	最近五箇年平均 1927年	1,471	4,478	3,158	8,546	6,511	15,369	26,825	99	61,715
其他	最近五箇年平均 1927年	1,845	19,009	8,235	12,095	11,799	19,243	23,882	493	76,569
計	最近五箇年平均 1927年	1,794	36,529	17,661	29,028	42,724	64	7,270	252	107,467
	最近五箇年平均 1927年	1,477	953	541	26,886	88,850	168	18,009	1,262	191,459
	最近五箇年平均 1927年	2,590	1,780	1,137	1,949	2,100	18,263	14,755	343	40,381
	最近五箇年平均 1927年	4,660	21,232	9,810	2,720	4,896	18,761	16,805	126	48,815
	最近五箇年平均 1927年	5,855	43,087	21,956	46,312	53,487	95,109	95,409	13,950	334,475
	最近五箇年平均 1927年	—	—	—	111,815	142,381	123,519	34,893	—	529,818

印度南洋方面諸港任向貨物噸數 (米噸)

	マ	シ	バ	サ	ス	シ	シ	其	合
石									
炭	最近五箇年平均 1927年	176,645	22,420	—	—	7,110	4,595	14,723	225,493
大豆	最近五箇年平均 1927年	181,104	—	—	—	—	3,360	31,680	216,144
其他	最近五箇年平均 1927年	9	6,338	30,547	15,147	10,637	13,774	13,334	89,796
計	最近五箇年平均 1927年	44	13,406	29,322	11,626	15,148	6,068	22,175	97,789
	最近五箇年平均 1927年	691	1,029	3,878	61,872	2,864	578	5,684	16,596
	最近五箇年平均 1927年	2,449	1,169	2,842	1,670	2,855	—	22,130	33,115
	最近五箇年平均 1927年	177,345	29,807	34,425	17,019	20,611	18,947	33,731	331,885
	最近五箇年平均 1927年	183,597	14,575	32,164	13,296	18,003	9,428	75,985	347,048

近東歐羅巴方面諸港仕向貨物噸數 (米噸)

	ポーツガル	フランス	セリア	ベルギー	ルクセンブルグ	オランダ	ハンガリー	ギリシャ	トルコ	その他	合計
大豆	82,209	10,680	675	7	62,480	38,077	8,184	20,589	12,947	235,938	
豆	112,479	41,287	1,137	33	63,976	122,060	564	44,614	4,677	430,817	
油	13,755	4,424	7,151	780	26,691	8,435	3,833	29,852	8,568	103,490	
其他	4,116	2,579	9,830	737	26,410	3,458	1,883	51,619	9,771	110,408	
最近五箇年平均	431	1,113	501	4,841	12,180	5,817	319	6,084	7,993	39,279	
1927年	759	1,661	1,083	1,216	24,198	18,452	426	12,776	11,831	72,402	
最近五箇年平均	96,485	16,217	8,327	5,628	101,351	52,330	12,336	56,525	29,508	378,707	
1927年	147,354	45,527	12,040	1,986	114,584	143,970	2,873	109,009	26,279	603,622	
合計											

北米方面諸港仕向貨物噸數 (米噸)

	メキシコ	セントパウル	セントルシア	セントビンセント	ニューヨーク	その他	合計
大豆	5,121	3,190	4,849	2,390	168	8,761	17,240
粕	2,978	4,849	2,390	3,727	—	14,534	22,361
油	5,731	1,592	1,592	3,433	3,433	1,649	14,832
其他	8,017	4,064	4,747	7,138	5,676	11,150	26,822
最近五箇年平均	4,470	2,228	15,322	9,644	11,033	22,895	22,436
1927年	2,228	15,322	13,223	11,188	9,109	25,968	59,488
最近五箇年平均	1927年						
合計							

(一) 仕出地としての各方面

1 真日本諸港

真日本諸港より大連へ仕向けらるゝ貨物に見るべきものなく、唯僅かに海産物の積荷を數へ得る程度であつて、此方面との航運依然寂寥たるは怪しむに足りない。

2 東北太平洋岸方面

此方面に於ける關係港としては横濱港あるのみにして同港仕出品にあつては近年小麦粉の稍々多量に上るものもあるも特記すべきものはない。横濱仕出大連向最近五箇年間貨物數量を示せば

1927年	1926年	1925年	1924年	1923年
噸	噸	噸	噸	噸
47,659	59,748	46,533	18,333	16,402

3 清水伊勢灣方面

名古屋より年數千噸の陶磁器の仕出ある外特筆に價するものはない。主要港の仕出量は

	1927年	1926年	1925年	1924年	1923年
清水	—	—	—	55	—
名古屋	16,588	19,586	16,780	10,468	8,254
四日市	606	441	493	282	288

第一章 海運貨物

二四

4 阪神瀬戸内海方面

阪神兩港は本邦商業經濟の中軸をなし貿易港としての繁榮愈々旺んであるが特にその對滿輸出貿易に於ては壓制的地位にある。實に兩港より大連向仕出貨物數量は全日本よりの總量の三分の二を占むるのである。仕出品の主要なるものは鐵鋼製品、綿絲布、紙類等所謂雜貨物で年額兩港を合して約三十噸に上る。大連港に於ける揚荷總量は一百万噸内外なればその三割内外を阪神兩港に於て占むるわけで以て如何に關係の密接なるかを覗ふに足る。

	1927年	1926年	1925年	1924年	1923年
大阪	153,543	131,122	138,734	125,024	114,392
神戸	124,599	139,858	112,843	88,395	85,063
下	2,779	1,340	650	2,012	466
計	17,509	19,769	21,829	13,443	13,384

5 九州方面

九州方面は門司港を以て主要仕出港とし、長崎の如きは年僅々一千數百噸餘の大連向仕出あるに過ぎない。門司港仕出品の主位にあるはセメントの年平均一萬數千噸他は雜貨類である。

	1927年	1926年	1925年	1924年	1923年
門司	64,489	68,594	62,279	46,006	54,223

八	長崎	1927年	1926年	1925年	1924年	1923年
計		2,472	9,577	9,686	1,691	1,728
計		1,799	1,659	1,916	1,677	

6 樺太北海道方面

所謂北洋材の入貨以外は海産物を擧ぐるを得るのみ。

7 臺灣方面

臺灣よりの入貨も特に擧ぐる程のものはない。大正十五年春大阪商船の定航路開始により同地よりの果實野菜類の輸入を稍々促進した如くであるが同航路は採算不振にして既に廢航され、之に代りたる近海郵船の新線は直航便なきを以て臺灣よりの輸入に對し從來の如き期待をかけることは難かしいことであらう。

	1927年	1926年	1925年	1924年	1923年
計	1,761	1,923	1,341	1,614	2,120
計	9,991	14,528	7,480	4,195	6,749

8 朝鮮方面

朝鮮よりの入貨はその種類に就てもその量に於ても殆んど見るべきものがない。以て海路通運の稀薄なるを知るべく、其の因つて来る所以が出産物資の相似的なるに依るか將又商取引の採算に由因するかは一考に價する事柄であらう。左に主要關係港よりの入貨數量を示せば

第一章 海運貨物

一六

	1927年	1926年	1925年	1924年	1923年
瀋陽	4,231	4,714	3,245	516	852
錦州	14,330	12,270	9,088	7,494	5,802

9 北支那方面

北支那諸港中大連向仕出港として認めらるべきは天津あるのみで、貨物は雜品である。

	1927年	1926年	1925年	1924年	1923年
天津	34,914	48,779	31,925	42,854	44,292
東港	320	202	921	396	1,351
牛莊	11,612	1,799	2,922	3,847	1,273
皇島	259	1,308	803	2,745	2,734

10 山東方面

山東諸港との關係に就ては前述の如く重要な仕向地であるが、同方面よりの入貨に就ては青島より綿絲布その他の雜貨比較的多きのみにて持筆すべきものはない。但し船舶運航の採算上よりの觀察には所謂デツキ・パツセンヂヤーとの他船客運貨が一要素となるを見逃してはならぬ。

	1927年	1926年	1925年	1924年	1923年
青島	31,799	18,976	20,890	25,344	20,999
龍口	11,331	6,984	5,814	6,961	7,964
龍口	6,803	7,155	5,139	4,025	4,382

11 中部支那方面

中部支那よりの貨物は主として上海港よりなされその量年二十萬噸に上る。その中、比的大量の入貨あるものは麥粉、苧、紙類である。

左に上海仕出大連向重要貨物及その數量を示せば

	1927年	1926年	1925年	1924年	1923年
麥	13,944	64,124	54,365	81,873	20,519
苧	18,274	22,361	22,574	23,702	30,305
紙類	11,625	14,172	7,474	5,673	2,152
其他	98,616	93,830	75,726	80,542	79,744
合計	142,459	194,487	160,339	191,790	132,720

12 南支方面

南支方面よりは香港を仲繼し來る砂糖、麻袋等稍多きのみ。左に香港仕出貨物最近五箇年數量を示せば、

第一章 海運貨物

一七

	1927年	1926年	1925年	1924年	1923年
砂	5,987	3,410	5,212	3,783	6,646
糖	16,029	11,351	4,881	5,603	3,358
雜貨	36,747	24,551	16,744	10,704	13,082
其他	58,763	39,313	26,867	20,090	23,086
合計					

尙ほ福州、香港、廣東三港の積出貨物量を比較すれば次の如くである。

	1927年	1926年	1925年	1924年	1923年
香港	58,763	39,313	26,867	20,090	23,086
福州	1,433	2,329	1,002	581	1,562
廈門	925	1,268	758	1,678	366

13 印度南洋方面

印度南洋方面よりは爪哇島諸港より砂糖の入貨あるのみにて他は殆んど云ふに足りない。

14 歐洲方面

歐洲方面よりの入貨中主なるものは鐵鋼製品にして最近年三萬噸を超ゆ。仕出港は主としてアントワープ、左に各港よりの入貨を示さん。

	1927年	1926年	1925年	1924年	1923年
ト	27,230	35,958	24,820	31,750	13,361
ロ	6,653	6,224	4,138	1,811	755
ハ	3,663	6,938	1,528	3,727	1,050
ニ	11,354	17,886	15,389	18,453	10,499
ホ	403	1,975	2,473	1,145	1,091

15 北米(加奈陀)方面

北米よりは麥粉及石油の入貨多く、前者は主として太平洋岸諸港より後者は大西海岸諸港より仕向けらる。貨物別に見たる入貨數量は次の如くである。

	1927年	1926年	1925年	1924年	1923年
麥粉	38,422	51,347	71,086	99,241	45,308
石油	41,611	25,708	39,326	42,359	46,876
其他	78,657	76,864	41,324	89,856	50,962
合計	158,690	153,919	151,736	231,456	143,146

次に各港別仕出量を掲ぐれば、

	1927年	1926年	1925年	1924年	1923年
アメリカ	23,175	30,731	44,208	56,695	2,115
イギリス	5,080	4,170	8,386	22,216	12,028
フランス	2,000	3,246	1,908	5,369	5,641
ドイツ	325	5,000	3,750	1,500	500
オランダ	19,284	13,831	22,448	52,358	20,576
スウェーデン	10,587	14,525	5,355	11,235	21,829
ベルギー	2,825	985	928	1,106	502
ルクセンブルグ	17,061	15,416	13,121	21,727	21,167
デンマーク	43,276	19,892	41,263	43,083	42,147

第三項 主要貨物と仕向地仕出地の關係

大連港に關係ある仕向港及仕出港に就ての貨物出入狀況は前項に述べた如くであるが、本項に於ては逆に主要出入貨物を主體とし之が如何なる方面と如何なる割合の仕向又は仕出關係あるかを考察せんとするものである。

一出 貨

石炭、豆粕、大豆、豆油、高粱、包米(玉蜀黍)は前項仕向諸港別に見たる狀況によつても大體看取し得る如く大連港に於ける主要積出貨物として一般に知らるゝところである。

いま是等貨物の最近五箇年間に於ける仕向量を方面別に觀察するに

石炭 は近海各方面へ普遍的に仕向けられその仕向量に於ても輸出貨物中第一位を占めてゐる。就中近年撫順炭の南支方面に仕向けらるもの激増したことは注目すべきである。

豆粕 は石炭に亞ぐ重要輸出品で、その大部分は日本向であるが、日本内地に於ける豆粕の需要は漸次同系肥料たる硫酸に蠶食されつゝある形勢にありその前途は可成り悲觀的である。さればその用途開拓に就ては食料或は飼料としての利用方法が研究されつゝある。しかし一方、豆粕は地力維持に多大の効果ある有機物としての特徴あり、これは到底硫酸の如き無機物の企及し能はざる點なれば俄かに豆粕の現勢は覆へざるゝものと云ふを得ず、浦鹽港經由内地向及安東經由朝鮮に入りしもの増加せることより察すれば、大連港仕出の減退は寧ろ輸送系統の變異に歸すべしとも稱せられる。蓋し何故に浦鹽港に於ける輸出が増加し大連港のそれが減退の傾向を示せるかはその生産地との關係並に油坊業の狀況に就き研究考慮すべきであらう。

大豆 は大連附近諸港には少量にて寧ろ遠隔の地に仕向けられ歐洲南洋方面への輸出は相當量に上つてゐる。

豆油 は歐米向九割を占め、高粱、包米は北支那、中部支那を主要仕向地としてゐる。

石 炭 (英噸)

	樺太 北海道	日本海岸	東北 太平洋岸	清伊 水勢灣	阪瀨 瀬戸内海	九州	臺灣	朝鮮	北支那
1927年	19,953	42,597	361,219	380,242	555,078	168,883	6,749	41,795	5,190
1926年	16,060	39,375	292,310	257,170	451,015	115,344	8,794	35,520	10,365
1925年	22,370	21,827	305,300	273,588	403,600	101,110	13,350	35,855	5,023

表1 糖 煎 製 麥

1111

年	1924年	1923年	1922年	1921年	平均					
1	11,750	28,037	318,438	242,685	384,976	50,532	17,250	30,688	4,082	
9	500	46,745	187,418	146,954	373,021	14,957	19,250	64,902	—	
9	14,127	35,716	293,937	260,128	433,538	90,165	13,079	41,748	4,932	
平均										
	山東諸港	中部支那	南部支那	極口	東	南洋及南濠	歐羅巴	米太平洋岸	北大西洋岸	合計
1	144,077	481,109	177,152	—	—	203,758	—	—	—	2,592,802
9	140,423	466,976	76,457	—	—	213,899	17	1	—	2,123,726
1	103,410	455,219	82,203	—	—	205,751	30	7,310	—	2,035,978
9	86,285	107,991	131,700	—	—	205,657	71	—	—	1,620,123
1	96,944	106,138	86,271	—	—	197,286	—	—	—	1,340,386
1	114,228	323,487	110,757	—	—	205,270	24	1,468	—	1,942,604

豆 粕

年	1927年	1926年	1925年	1924年	1923年	平均			
1	8,566	77,941	233,978	163,295	127,686	145,474	169,211	6,729	37
9	5,310	70,507	279,535	211,368	171,401	163,709	186,682	1,388	609
1	2,979	95,187	317,742	187,992	178,534	153,484	203,703	238	285
9	9,868	59,315	336,797	248,182	229,395	176,904	167,914	137	122
1	1,156	56,540	309,742	251,509	257,512	173,064	117,658	227	31
1	5,576	71,898	295,359	218,469	192,906	163,527	168,554	1,744	217

年	1927年	1926年	1925年	1924年	1923年	平均			
1	18,401	75,901	191,459	—	107	6	27,400	—	1,246,191
9	4,808	42,081	148,577	—	1	—	16,930	813	1,308,714
1	9,302	31,069	91,934	—	2	2,112	15,041	25	1,389,629
9	1,714	24,278	60,153	—	—	3,109	18,526	—	1,334,514
1	8,644	20,733	45,213	—	—	2,644	10,097	2,407	1,287,177
1	8,573	38,812	107,467	—	22	1,574	17,597	649	1,293,244

大 豆

年	1927年	1926年	1925年	1924年	1923年	平均				
1	688	8,300	86,450	82,432	34,741	22,859	27,693	—	—	
9	50	2,974	76,627	87,592	40,345	27,657	31,064	—	104	
1	104	6,215	85,596	166,647	68,561	46,366	29,179	—	3,191	
9	1,394	11,780	106,942	178,736	57,022	45,477	28,937	60	1,102	
1	345	4,125	104,215	127,405	80,760	45,675	28,916	—	32	
1	515	6,679	91,966	128,562	56,226	37,695	29,158	12	886	
	山東諸港	中部支那	南部支那	極口	東	南洋及南濠	歐羅巴	米太平洋岸	北大西洋岸	合計
1	16,921	146,184	76,569	—	—	106,562	426,453	65	—	1,035,917
9	2,868	91,634	86,437	—	—	92,441	233,693	6,181	96	779,763

表1 糖 煎 製 麥

1111

年	1925年	1926年	1927年	平均
支那	19,796	19,222	132,359	64,532
朝鮮	12,349	103,974	45,063	89,452
北支那	10,771	96,737	61,714	86,084
山東				225,570
中部支那				119,700
南部支那				237,066
極東支那				1,672
南洋及瀛洲				488
歐羅巴				621
北米太平洋沿岸				46
北米大西洋沿岸				28
合計	892,089	800,292	747,779	851,166

豆 油

年	1927年	1926年	1925年	1924年	1923年	平均
日本太平洋沿岸	2	6	2	5	—	3
東北太平洋沿岸	—	76	388	—	—	21
清水伊勢灣	15	—	—	1	—	33
阪神瀨戸内海	718	507	276	133	277	382
九州臺灣	89	34	32	34	22	42
朝鮮	11	111	7	—	10	3
北支那	787	96	179	50	76	51
山東	903	102	89	3	12	215
中部支那	6,678	4,588	3,882	15	270	276
南部支那	2,721	3,165	3,800	1,202	4,806	4,231
極東支那	—	—	—	1,196	2,749	2,726
南洋及瀛洲	—	—	—	—	—	—
歐羅巴	110,403	110,693	98,811	92,808	104,727	103,488
北米太平洋沿岸	6,219	10,452	10,099	6,265	11,875	8,982
北米大西洋沿岸	3,433	2,481	760	2,356	15,182	4,842
合計	132,251	132,708	119,602	104,103	140,226	125,775

高粱

年	1927年	1926年	1925年	1924年
日本太平洋沿岸	5	21	15	396
東北太平洋沿岸	1,920	3,898	4,512	6,681
清水伊勢灣	1,249	1,567	4,409	6,054
阪神瀨戸内海	1,292	1,636	6,388	7,908
九州臺灣	447	241	1,328	3,425
朝鮮	33	984	99	—
北支那	222	188	5	139
山東	9,931	52,136	135,966	23,362
中部支那	124,196	33,529	71,188	7,535
南部支那	59,170	61,431	53,606	25,383
極東支那	50	61	97	204
南洋及瀛洲	—	—	—	—
歐羅巴	1	—	—	—
北米太平洋沿岸	825	336	—	—
北米大西洋沿岸	810	—	—	42
合計	200,151	156,093	273,125	80,894

年	1923年	平均
日本太平洋沿岸	2	87
東北太平洋沿岸	64	92
清水伊勢灣	5,578	4,711
阪神瀨戸内海	8,117	3,851
九州臺灣	3,935	4,058
朝鮮	79	1,875
北支那	380	239
山東	24,845	187
中部支那	53,135	49,348
南部支那	135,450	57,917
極東支那	67,708	82
南洋及瀛洲	—	—
歐羅巴	—	—
北米太平洋沿岸	—	232
北米大西洋沿岸	—	170
合計	238,531	189,757

包 米

年	1927年	1926年	1925年	1924年	1923年	平均
日本太平洋沿岸	163	223	—	350	255	198
東北太平洋沿岸	7	9	—	129	33	35
清水伊勢灣	956	3,226	534	1,223	4,208	2,041
阪神瀨戸内海	1,355	1,206	1,579	1,431	1,423	1,499
九州臺灣	2,508	5,193	1,203	5,718	9,320	4,788
朝鮮	712	915	93	943	715	676
北支那	—	—	—	—	—	—
山東	11	—	—	—	33	9
中部支那	5,107	96,879	67,256	11,724	5,912	37,284
南部支那	38,541	35,717	5,025	6,249	22,252	22,652
極東支那	14,018	19,233	5,878	240	77,221	24,520
南洋及瀛洲	98	—	—	—	242	116
歐羅巴	—	—	—	—	—	—
北米太平洋沿岸	—	28	—	—	—	28
北米大西洋沿岸	—	3,039	9,638	3,937	6,107	4,548
合計	63,976	165,688	98,205	36,593	127,810	98,394

二 入 貨

入貨に於てはその數量最高なるものも辛うじて輸出主要貨物の下位に比肩するに過ぎないのであるから、たとへ入貨物中にあつては相當量の貨物にても輸出貨物との比較に於ては量的に遙かに劣れることを豫め斷つて置かねばならぬ。

いま入貨物の主要なるものを擧ぐれば麥粉を筆頭とし、石油、金物、綿布、セメント及石灰、苧、麻袋、魚類及海産物、野菜及果物等である。

鋼鐵製品が歐洲より、麥粉、石油が北米より稍々多量に仕向けられる外、輸入品の主たる仕出地は日本である。

粉、糞を除いては支那諸港よりの入貨が目立つものはない。

石 油

	日 本	朝 鮮	支 那	極東ロシヤ	南洋及 南洋	歐羅巴	亞米利加	合 計
1 9 9	1,320	—	19	—	—	—	41,611	42,850
1 9 9	1,250	—	3,376	—	—	—	25,708	30,334
1 9 9	553	—	918	—	—	—	39,326	40,797
1 9 9	304	3	416	—	—	—	42,359	43,082
1 9 9	176	—	1,556	—	—	—	46,876	48,608
平	701	—	1,257	—	—	—	39,176	41,134

麥 粉

	日 本	朝 鮮	支 那	極東ロシヤ	南洋及 南洋	歐羅巴	亞米利加	合 計
1 9 9	14,229	—	13,945	—	—	—	38,422	66,596
1 9 9	45,611	3	64,376	—	—	—	51,347	161,337
1 9 9	33,517	120	55,576	—	—	—	71,086	160,294
1 9 9	4,986	8	83,990	—	—	—	99,241	188,235
1 9 9	4,223	6	21,307	—	—	—	45,308	70,744
平	20,513	27	47,818	—	—	—	61,081	129,439

糞

	日 本	朝 鮮	支 那	極東ロシヤ	南洋及 南洋	歐羅巴	亞米利加	合 計
1 9 9	6,765	514	24,284	—	111	44	1,570	33,288
1 9 9	3,345	2	26,685	—	—	26	7,221	37,279
1 9 9	2,934	61	27,283	—	4	125	3,221	33,628
1 9 9	4,344	437	28,665	—	—	69	3,789	37,304
1 9 9	3,167	75	36,710	—	—	123	3,960	44,035
平	4,111	218	28,725	—	23	77	3,952	37,106

麻 袋

	日 本	朝 鮮	支 那	極東ロシヤ	南洋及 南洋	歐羅巴	亞米利加	合 計
1 9 9	20,495	1,213	20,574	—	1,786	—	—	44,068
1 9 9	20,507	758	17,244	—	550	3	—	48,062
1 9 9	26,920	279	11,959	—	2,292	6	1	41,457
1 9 9	14,258	88	9,123	—	5,943	6	10	29,428
1 9 9	15,633	12	9,680	—	3,424	—	20	28,829
平	21,375	470	13,716	—	2,739	5	6	38,371

第一章 港別試卷

魚類及海產物

三六

	日	本	朝	鮮	支	那	極東ロシヤ	南洋及南洋	歐羅巴	亞米利加	合計
1	9	15,571	216	1,032	460	—	—	—	6	993	18,378
1	9	17,172	350	1,377	3,251	—	—	—	1	1,043	23,194
1	9	9,186	170	3,030	609	—	—	—	—	725	13,730
1	9	11,124	69	2,514	832	—	—	—	16	1,154	15,709
1	9	13,324	209	7,507	1,915	—	—	—	3	17	22,975
1	9	13,275	203	3,092	1,413	—	—	—	5	786	18,773
	平均										

野菜及果物

	日	本	朝	鮮	支	那	極東ロシヤ	南洋及南洋	歐羅巴	亞米利加	合計
1	9	38,643	938	7,298	—	—	—	—	—	19	46,898
1	9	47,425	1,087	7,468	—	—	—	2	—	2	55,986
1	9	33,365	511	6,205	—	—	—	—	1	50	40,132
1	9	22,623	374	8,910	—	—	—	—	—	21	31,928
1	9	21,617	255	11,065	—	—	—	—	1	10	32,948
1	9	32,735	633	8,189	—	—	—	—	1	20	41,578
	平均										

金物

	日	本	朝	鮮	支	那	極東ロシヤ	南洋及南洋	歐羅巴	亞米利加	合計
1	9	49,562	216	12,195	—	—	—	1	42,510	28,239	132,723
1	9	39,249	850	8,964	—	—	—	12	44,996	6,359	100,530
1	9	43,170	125	5,559	—	—	—	276	27,122	4,252	80,504
1	9	43,078	415	9,562	—	—	—	266	35,365	7,984	96,670
1	9	38,988	196	11,058	—	—	—	—	17,036	9,288	76,566
1	9	42,829	360	9,468	—	—	—	111	33,406	11,224	97,398
	平均										

綿布

	日	本	朝	鮮	支	那	極東ロシヤ	南洋及南洋	歐羅巴	亞米利加	合計
1	9	7,175	—	7,526	—	—	—	—	25	—	14,726
1	9	10,623	9	5,524	—	—	—	—	309	10	16,475
1	9	9,939	10	9,992	—	—	—	1	80	35	20,057
1	9	10,867	29	5,418	—	—	—	15	150	62	16,541
1	9	16,196	24	6,052	—	—	—	—	327	75	22,674
1	9	10,960	14	6,902	—	—	—	3	178	36	18,095
	平均										

ない。例へば港内各埠頭は夫々その所有者を異にし自家専用となせるが如きは之である。されば貨物の出入積卸に關しても全般的に正確なる資料を得ることは至難である。唯々海關に於ける統計は吾人の要求の一部を満すべく又唯一の信頼するに足るものである。依て本節に於ては右の資料に根據を求めた。而して本課編纂の北支那貿易年報はこの海關統計を基礎とする最も信頼すべきものであるが、「貿易的」にあらずして「運輸的」考察を主眼とする本編に於ては稍々不便なるを以て、多少計數的正確さに缺くる處を忍び、海關日報より集計せるものを（本課編纂滿洲經濟統計月報上卷）を以て營口港の出入貨を概観するであらう。

「運輸的」考察の要點は仕向地並に仕出地との關係である。その關係の内容として貨物の種類及量が問題となる。營口の海路出入主要貨物の仕向地及仕出地關係に就て最近過去三箇年間の數字を集約して得たるものは次の如くである。

輸出主要貨物仕向地別輸送百分比 (1925—1927年三箇年平均數量による)

	北支那	山東	中部支那	南部支那	日本	其他	合計
大豆	26	9	15	44	5	—	100
豆粕	20	10	6	55	9	—	100
高粱	16	5	66	12	—	—	100
黍	85	4	7	—	4	—	100
高粱玉	89	10	—	—	—	—	100
粟	43	4	5	21	—	—	100

	北支那	山東	東	中部支那	南部支那	日本	其他	合計
鐵	59	—	—	5	—	—	—	100
炭	17	11	41	18	—	35	—	100
酒	11	23	43	23	—	11	—	100
參	19	14	55	12	—	—	—	100
材	22	13	48	17	—	—	—	100

輸入主要貨物仕出地別輸送百分比 (1925—1927年三箇年平均數量による)

	北支那	山東	東	中部支那	南部支那	日本	其他	合計
綿	17	3	73	—	—	—	—	100
絲	9	4	78	—	—	6	—	100
石	53	—	34	—	—	8	—	100
紙	18	5	58	—	—	4	—	100
粉	55	1	39	—	—	5	—	100
麥	—	—	—	—	—	3	—	100

以上の分布狀況が必ずしも當該貨物の最初の仕出地若くは最後の仕向地でないのは勿論であるが、營口港を中心とする航運關係の觀察には役立つを得る、即ち先づ仕出地及仕向地の殆んど總てが支那諸港なるを知るべく、其他の地にあつては日本を擧げ得る外二の極東外國屬領あるのみである。勿論貿易關係に於ては外國品の輸入、外國向輸出はあれども、その數量は巨額でなく殆んど悉くが中繼的徑路をとることは前掲の輸送分布表に徴しても窺知し得る處である。即ち綿絲布に於ける上海、石油、麥粉に於ける天津、上海にこの傾向を見ることが出来るであらう。

海運貨物を通じて觀たる營口港は支那の一沿岸貿易港としてより外一步も出ないが産業上支那本土と別天地をなす滿洲の一門戸をなす點に於て支那沿海諸港と稍々趣を異にしてゐる。

營口港輸出主要品仕向港別數量表
營口港輸入主要品仕向港別數量表
は別紙にて挿入

第三節 安東港の海運貨物

安東港の海路輸送系路は二方面に分れる。一つは天津山東及上海方面即支那沿岸との往來にして、一つは關門阪神即ち日本へ至るものである。

日本内地間の輸送は朝鮮郵船及大阪商船二社の定期船によりなされつゝあるが輸出貨物の主たるものは穀物、豆粕等にて兩社合して年額僅かに四萬噸乃至五萬噸に過ぎず輸入貨物は雜貨三萬噸内外である。

支那沿岸仕向貨物は殆んど總て木材、製材類にてその他は微々云ふに足りない。移入貨物は綿絲布、紙類、茶果等あるも出貨の一割見當にして見るべきものなく、所謂デッキ、パツセンチャアの多寡が船舶の運航を左右すること珍らしからずと云ふ。而して支那諸港仕向木材數量は左表に示すが如く一箇年七八萬噸に上り安東港唯一の海運貨物である。

思ふに安東は木材以外その背後地に重要資源を有せず、又奥地向商品の輸入路としても地の利に於て大連營口に及ばず、海運貨物より見たる安東港の地位は南滿三港の一として滿洲の三大門戸の一に數ふるには懸隔の稍々大なるを

覺ゆる。唯その地たる滿鮮國境の一陸鬮たるに止まるのみ。

安東港支那各地向木材輸送高表 (大連汽船會社安東支店調)

昭和二年度 (單位噸)

埠	店	天津	青島	芝罘	西口	龍口	威海衛	秦皇島	石虎咀	上海	合計
大 政 本 合	社 船 行 計 記 古 洋 公 行 店 計	32,375	2,825	—	3,157	870	—	—	—	—	39,227
		1,877	1,455	2,983	1,770	1,086	107	—	—	—	9,228
		11,680	990	5,290	990	3,530	—	1,180	—	—	23,740
		45,912	5,270	8,523	5,917	5,586	107	1,180	—	—	72,495

昭和元年度

埠	店	天津	青島	芝罘	西口	龍口	威海衛	秦皇島	石虎咀	上海	合計
大 政 本 合	社 船 行 計 記 古 洋 公 行 店 計	33,118	—	—	—	—	—	—	—	—	33,118
		9,182	—	1,857	2,869	2,461	—	—	—	—	16,369
		15,600	3,147	1,370	3,854	—	—	—	—	—	23,971
		9,130	3,150	—	800	—	—	—	—	—	940
		67,020	6,297	3,227	7,523	2,461	—	—	—	—	87,468

營口港輸出主要品仕向港別數量表

仕向港	品名 年次	豆(擔)			豆 粕(擔)			豆 油(擔)			高 粱(擔)			玉 蜀 黍(擔)			粟 (擔)			鐵 (擔)			石 炭(英噸)			支	
		1927	1926	1925	1927	1926	1925	1927	1926	1925	1927	1926	1925	1927	1926	1925	1927	1926	1925	1927	1926	1925	1927	1926	1925	1927	
天	津	1,086	16,971	141,197	38,110	57,675	117,299	4,315	1,023	1,240	922,439	752,420	1,491,993	146,679	619,860	452,574	12,434	45,023	44,774	111,157	20,122	85,655	22,752	49,556	15,989	90	
秦	皇						23,000																	180	120		
復	州										1,890								25			130	1,148	3,347			
大	連	231,664	227,984	348,105	376,934	486,788	468,411	6,273	1,372	14,206		488	78		1,514	2,621	11,568	3,410	6,654	46,584			10,565	31,905	15,365	4,42	
旅	順																						3,200	3,240			
安	東		9,475			52,900																	2,010	830			
芝	罍	22,886	59,351	94,735	104,761	82,156	123,530	2,323	3,016	3,134	4,039	4	4,171	306	467	21	2,483	20	7				4,680	1,400	1,990	1,28	
龍	口 又 紅 登 州	76,431	30,366	32,286	258,704	96,172	157,949	252	144	267	9,022	1,837	13,375	56,495	30,206	53,587	2,983	1,353	4,586	496			27,545	30,126	31,298	3,99	
青	島			8,371							102,046		774										2,425		350		
上	海	144,305	116,356	312,736	201,956	99,982	192,795	60,612	8,256	42,921	218,016	4,873	34,884	9	1,946	513	94	6	13,948			21,311	140,515	84,343	80,719	29,68	
漢	口								2,974															13,846	49,155	6,072	
寧	波																						4,480	4,370	1,570		
興	友	966	4,468	13,627	140,728	90,590	124,382		140														510	425	870		
泉	州	6,305	2,585	12,467	71,760	39,520	81,880	290	112	513	159	82		489			20						430	340	520	68	
廈	門	109,542	87,844	65,127	500,085	288,282	246,698			1,320							61,180						2,653	6,355	1,112	8,44	
汕	頭	257,902	307,987	324,719	597,775	763,074	1,212,023	1,511		3,440													4,379	6,605	7,289	7,73	
福	州	6,185			37,720																		200	5,755		4	
香	港	33,590	3,959	55,289	13,800		14,904	670		4,645													7,660	2,400	13,945	768	
廣	東	140,570	90,814	113,651	46,006	76,820	11,500	2,991	2,645	2,979													14,715	42,694	3,270	2,67	
其 他	支 那 諸 港	5,880	10,487		10,952	69,014			2		13,649				2,896					2,495			17,795	17,565	6,355		
日	本	121,400	19,447	57,209	126,178	260,884	377,816				155,425	6,370	2,495	14	2,508	980	55,531	17,923	2,135	147,107	2,570	3,965	35,935	32,931	30,044		
朝	鮮									2													9,630	3,465	4,125		
其 他	外 國																								110		
合	計	1,158,712	988,094	1,579,519	2,525,469	2,463,857	3,152,187	79,237	19,684	74,667	1,426,685	766,074	1,551,770	203,992	659,379	510,296	147,293	67,735	72,129	307,839	22,692	110,931	320,845	376,038	228,420	60,654	

營口港輸入主要品仕出港別數量表

仕出港	品名 年次	綿織物(疋)			綿絲(擔)			石油(ガロン)			紙類			麥粉		
		1927	1926	1925	1927	1926	1925	1927	1926	1925	1927	1926	1925	1927	1926	1925
天	津	31,585	241,709	182,632	1,460	6,276	22,422	1,728,758	2,748,039	2,676,036	15,583	14,970	33,505	16,539	1,761,009	38,164
秦	皇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	152	—	—	—	—	—
復	州	1,180	—	—	—	—	—	—	—	—	265	—	—	—	—	—
大	連	16,648	24,640	90,745	9	864	10,626	441,411	—	1,153	276	1,320	7,891	—	7,718	19,772
旅	順	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
安	東	—	—	6,140	—	—	428	—	—	—	—	—	564	—	—	—
芝	罌	8,960	60,786	10,136	966	5,989	758	—	—	—	7,208	639	663	—	14,333	—
龍	口又江登	12,920	1,214	851	3,179	—	—	11	—	—	3,099	3,716	1,968	15,792	—	3,318
青	島	2,290	3,410	20,200	6,841	284	2,769	—	—	—	—	388	1,667	—	2,939	5,586
上	海	1,116,449	831,151	674,352	110,624	142,459	115,969	872,450	2,419,983	1,631,162	61,965	84,806	94,874	259,927	459,211	581,433
漢	口	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
寧	波	—	—	—	—	—	—	—	—	—	254	—	—	—	—	—
興	化	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
泉	州	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
厦	門	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
汕	頭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	160	—	29,400	—
福	州	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17,869	9,420	12,938	—	—	—
香	港	23,348	—	—	—	—	3,644	—	—	557,674	5	—	1,133	—	—	—
廣	東	70	480	—	156	—	—	—	—	—	16,548	380	34	—	—	—
其	他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	438	—	—	—	—	—
日	支	3,480	161,298	62,730	8	32,753	4,211	—	607,490	—	1,721	13,696	3,241	3,675	81,429	18,780
朝	鮮	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22,050	—
其	外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合	計	1,216,930	1,324,688	1,047,786	123,243	188,625	160,827	3,676,472	5,775,512	4,866,025	125,383	129,335	158,638	295,933	2,378,089	667,053

(新嘉坡)
633,842

第二章 船 腹

第一節 大連港の船舶状況

大連港の船舶状況に就ては曩に編せる「大連港を中心とする船舶の概勢」(パレフレット第二十六號)に於て稍詳細に沿革的に記述せし處であり、その航路に關しては更に「北支那諸港の航路網」(パンフレット第四十六號)なる小編中に概括的に叙述したのであるが、産業經濟の趨勢と共にその變轉は暫くも止まる處を知らぬかに見ゆる。されば本章は之が増補の意味に於て、且つは又前章との關係的意味に於て最近の情勢を窺ふこととしやう。

第一項 定期航路現況

一つの商港が如何なる航路網の中に存在するかは商港の海運的地位を最も明瞭に表現するものである。勿論航路網の價值乃至重要さは必ずしもその數多きによらず、その内容の充實程度と交通範圍の廣狹に關するところ大ではあるが、商港の地位確立すると共に漸次不定期船を定期化する傾向を有するから定期航路状況は畢竟商港の消長を示すバロメーターとなる。左に先づ大連港の航路状況を表示せん。

大連港を基點とする定期航路

線名	寄港地	經營者	配船	一箇月一回	一箇月平均配船噸數	摘要
大連、上海線	大連、青島、上海	大連汽船	樺太丸(3,402) 大連丸(3,748) 奉天丸(3,975)	10回	36,833	大正十年十月開始
大連、安東、天津線	大連、安東、天津	大連汽船	天潮丸(1,261) 濟通丸(1,037)	6回	7,014	大正四年四月開始 結氷中は安東行中航 止、當該期間十航 海
大連、龍口、登州府線	大連、龍口、登州府	大連汽船	龍平丸(724)	6回	4,344	大正四年二月開始
大連、芝罘線	大連、芝罘	政記公司	永利號(628)	15回	9,420	
大連、芝罘線	大連、芝罘	田中商事	永利號(487)	30回	37,310	海軍號は芝罘鹿玉 軒記、海軍丸は高 橋汽船の代理
大連、天津線	大連、芝罘、天津	阿波汽船	北海丸(670)	5回	3,910	芝罘鹿玉軒記代理
大連、青島、安東線	大連、青島、安東	政記公司	廿一共同丸(1,381) 十六共同丸(1,477)	12回	17,148	大正三年開始
大連、龍口、安東線	大連、龍口、安東	政記公司	廣利號(1,033) 純利號(1,203)	10回	13,827	
大連、芝罘、仁川線	大連、芝罘、威海衛、 仁川	阿波汽船	豐利號(494) 有信丸(640)	12回	6,804	
大連、鎮南浦、天津線	大連、鎮南浦、天津	阿波汽船	廿六共同丸(1,997) 利通丸(1,855)	4回	7,988	明治二十五年開始
		阿波汽船	長山丸(1,708)	4回	7,420	芝罘利通公司代理
		阿波汽船		2回	3,416	昭和三年六月開始

朝鮮、北海道、大連線	仁川、大連、鎮南浦、 蔚山、釜山、海州、 客津、無尾、敦賀、門司 (寄港順不同)	島谷汽船	鮮海丸(2,126) 長成丸(2,042) 大成丸(1,824)	2回	5,392	
臺灣、朝鮮、大連線	高雄、仁川、大連、 基隆、釜山、鎮南浦、 安東、自由、寄港	近海郵船	神州丸(2,884) 養老丸(2,204) はるびん丸(5,169) ばいかる丸(5,243) あかり丸(6,070)	2回	3,088	臺灣總督府命令昭 和三年六月開始
大阪、大連線	大阪、神戸(字品)、 門司、大連	大阪商船	あかり丸(6,010) 香港丸(5,871) 歐羅巴丸(3,083)	11回	62,398	
字品、糸崎、大連線	字品、糸崎、大連	田中商事		1回	3,083	濱根商店代理

大連港を寄港地とする定期航路

線名	寄港地	經營者	配船	一箇月一回	一箇月平均配船噸數	摘要
北支那沿岸線	(往)上海、青島、天津 (復)天津、大連、青 島、上海	大阪商船	華山丸(2,100) 唐山丸(2,100)	2回	4,200	日清汽船代理
天津、上海線	上海、天津、大連	政記公司	成利號(1,200)	1回	1,200	
營口、上海線	營口、大連、上海	政記公司	利興號(2,030)	2回	4,060	
營口、大連、阪神線	營口、大連、阪神	大連汽船	順長丸(2,245)	1回	2,245	大正十一年四月明 始、結氷中は營口 行中止

横濱線

線名	船主	起點	終點	經營者	國籍	配船隻數	噸數	一箇月平均配船噸數
横濱、牛莊線	上	横濱、名古屋、四日市、大坂、牛莊	近海郵船	相勝、武勝、浦武丸(1,741)	日	4回	7,247	明治二十九年日本郵船に於て開始
朝鮮、九州線	上	仁川、鎮南浦、大連、龍兒島、三角	朝鮮郵船	羅南丸(1,248)	日	2回	2,496	大正十三年十一月開始
朝鮮、北支那線	上	仁川、鎮南浦、安東、芝罘、大連、青島	朝鮮郵船	會寧丸(1,010)	日	2回	2,020	大正十一年九月開始
九州、朝鮮線	上	仁川、鎮南浦、大連、釜山、蔚山、龍兒島、(寄港角、若津、馬山、順不同)	大阪商船	關東丸()	日	2回		
高雄、天津線	上	(往)高雄、基隆、福州、上海、青島、天津、(復)天津、大連、上海、福州、基隆、高雄	大阪商船	湖盛丸(2,610) 北京丸(2,565) 沙島丸(2,541)	日	3回	7,716	
横濱、天津線	上	(往)横濱、名古屋、神戸、天津、大連、(復)天津、門司、横濱	大阪商船	先島丸(1,224) 外一隻 1,300噸噸數	日	2回	2,524	

大連港を寄港地とする遠洋航路

線名	又	船主	起點	終點	經營者	國籍	配船		一箇月平均配船噸數
							隻數	噸數	
日本、歐洲線		上	横濱	漢	大阪同	日	5	38,481	7,696
青		上	漢	青	大阪同	日	4	23,555	5,888

横濱線

線名	船主	起點	終點	經營者	國籍	配船隻數	噸數	一箇月平均配船噸數	
ヒューゴトサカ	上	海	シ	ナ	トル	同	6	52,779	17,598
リグア	上	漢	青	同	日	6	42,520	7,087	
ア	上	漢	青	同	日	6	41,884	6,981	
グ	上	漢	青	同	日	9	—	—	
エ	上	漢	青	同	日	17	104,140	18,378	
ト	上	漢	青	同	日	25	184,636	29,540	
サ	上	漢	青	同	日	4	25,000	8,520	
カ	上	漢	青	同	日	6	34,600	8,650	
ク	上	漢	青	同	日	4	28,000	14,000	
ケ	上	漢	青	同	日	5	55,065	11,013	
コ	上	漢	青	同	日	13	81,354	6,258	
ク	上	漢	青	同	日	8	49,236	6,154	
ケ	上	漢	青	同	日	5	26,962	5,392	
コ	上	漢	青	同	日	7	48,960	5,994	
ク	上	漢	青	同	日	5	26,331	5,266	
ケ	上	漢	青	同	日	5	39,238	7,848	
コ	上	漢	青	同	日	5	31,928	6,386	
ク	上	漢	青	同	日	—	—	—	
ケ	上	漢	青	同	日	5	33,189	6,638	
コ	上	漢	青	同	日	6	44,956	14,985	
ク	上	漢	青	同	日	5	34,062	6,812	

横濱線

線名	船主	起點	終點	經營者	國籍	配船隻數	噸數	一箇月平均配船噸數	
ヒューゴトサカ	上	海	シ	ナ	トル	同	6	52,779	17,598
リグア	上	漢	青	同	日	6	42,520	7,087	
ア	上	漢	青	同	日	6	41,884	6,981	
グ	上	漢	青	同	日	9	—	—	
エ	上	漢	青	同	日	17	104,140	18,378	
ト	上	漢	青	同	日	25	184,636	29,540	
サ	上	漢	青	同	日	4	25,000	8,520	
カ	上	漢	青	同	日	6	34,600	8,650	
ク	上	漢	青	同	日	4	28,000	14,000	
ケ	上	漢	青	同	日	5	55,065	11,013	
コ	上	漢	青	同	日	13	81,354	6,258	
ク	上	漢	青	同	日	8	49,236	6,154	
ケ	上	漢	青	同	日	5	26,962	5,392	
コ	上	漢	青	同	日	7	48,960	5,994	
ク	上	漢	青	同	日	5	26,331	5,266	
ケ	上	漢	青	同	日	5	39,238	7,848	
コ	上	漢	青	同	日	5	31,928	6,386	
ク	上	漢	青	同	日	—	—	—	
ケ	上	漢	青	同	日	5	33,189	6,638	
コ	上	漢	青	同	日	6	44,956	14,985	
ク	上	漢	青	同	日	5	34,062	6,812	

The Bank Line.	New York 發世界一週	嘉利洋行 扱	英	7	38,736	5,519
James Chamber & Co.	New York-Japan China.	同	同	—	—	—

備考 航路使用船は随時變更さる爲此の種調査の絕對精確を期するは困難である。殊に航路の改廢合併新設等繁雜なる現下の實狀に於てこの點が深い、唯本表の現状を窺ふ資料たり、歴史發展の點付けに參考たりれば即ち足る。

以上の如く大連港に集中せる定航路數は實に二十數線に及び一箇月定期配船噸數三十萬噸を超え、之に寄港遠洋航路を加ふれば定期に又は準定期に配船さるゝ航路は三十餘線五十萬噸にも達すべく、その海運的地位は決して貧弱なりと云ふを得ぬ。がしかし大連港の航路現況果して誇るに足るか、以下少しく考察を加えやう。

先づ支那沿岸航路は如何。定航路の最長は上海に至るもの、大連汽船の大連上海線の外日清汽船の北支沿岸線、政記公司の天津上海線、肇興公司の營口上海線が寄港し一箇月平均配船噸數約四萬五千噸である。天津に至るものは大連汽船の大連安東天津線及最近開航せる阿波共同汽船の大連鎮南浦天津線あり一箇月平均配船噸數は約一萬噸である。この外芝罘鹿玉軒記の大連芝罘天津間を往來するもの平均一箇月四千噸がある。山東諸港に對しては龍口、芝罘、威海衛、青島の間に航路關係があり頻度は多いが小型船舶の就航する文字通りのローカル、ラインである。この方面にあつては邦船華船相半ばしてゐる。邦船側は大連汽船の大連龍口線、阿波共同の大連芝罘青島線、大連芝罘仁川線あり之に田中商事扱高橋汽船の大連芝罘線及朝鮮郵船の朝鮮北支線も之に加わる。華船側は政記公司が大連芝罘線、大連青島安東線、大連龍口安東線を經營せるが、芝罘鹿玉軒記及利通公司是田中商事を代理扱店として大連芝罘線並に大連芝罘仁川線に配船してゐる。以上諸線の一箇月平均配船噸數は約十一萬噸に及ぶ。而して是等の航路關係を見る

に「大連、山東、安東間」、「大連、山東、朝鮮間」、「大連、山東、天津間」等の三角線を描けるもの多く之に前記大連を中心として安東又は朝鮮より天津に至るものを併せ考ふる時、是等諸線が最も自然的なる地方的航路網を形成し居ることを知るべく、而も大連港がその中心的地位を占め居ることは興味深いものがある。

朝鮮方面との航路關係は前記山東諸港と共に三角線をなせるものゝ外は、臺灣、九州、北海道等遠距離線の迂回又は延長により終點たり寄港地たる状態である。

日本内地との間には逓信省の命令航路として旅客輸送を主とする大阪商船の大阪大連線あり本線のみにて一箇月平均配船約六萬噸である。この外貨物船として田中商事扱船の宇品糸崎に至るもの、大連汽船の營口阪神線、近海郵船の横濱牛莊線、大阪商船の横濱天津線等の主要な寄港地である。

臺灣方面とは大阪商船の高雄大連線に代りたる近海郵船の臺灣朝鮮大連線及大阪商船の高雄天津線が復航に寄港するのみ。

次に遠洋航路に就いて見るに邦船側大阪商船日本郵船の歐洲航路北米航路を首めとし、外國商船極東航路の延びてこゝに至るもの可成りの數に上り、別表に擧げたる各航路は殆んど總て大連港を確定寄港地とせるものである。而して外國船の廻航が單に滿洲特産品の積取りに於てのみならず自國貨自國船輸送の便宜が自ら自國品を滿洲に輸入せしめることに貢獻するは否み難き點にして、こゝに滿洲に於ける各國商戰が因果的に表象されるを見る。

第二項 不定期船況

一、不定期船業者及運航範圍

不定期船はその配船回数、發着時日、運航方面等全く一定せず専ら荷動きの情勢を察して自由に運用されるを本領とする。故にそのこれを捕捉すべき對象を求むること困難なるのみならず、その得たる結果にも必ずしも充分の價値を認め得ないのは已むを得ないことである。が然し、主要なる貨物集散港には多くの海運業者が夫々支店、出張所又は代理店を設けてその地を中心とする不定期船の運用を行はしむるものである。大連港又然りて、是等不定期船取扱海運業者及その運航方面を擧げることには當港中心不定期船狀況のアウトラインを見る上に必ずしも徒爾ではあるまい。左にその現狀を示さう。

船 主	代理 營業 者	航 路	主 要 貨 物
川崎汽船株式會社	國際運輸大連支店	大連—内地	滿洲特産及石炭
山下汽船株式會社	山下汽船株式會社大連支店	大連—内地 大連—南洋	撫順炭その他
町田汽船株式會社			
海通公司	澤山兄弟商會大連出張所	大連—マニラ 大連—内地	同
南洋礦業公司			
草場船船部			
島谷汽船株式會社	大三商會	大連—内地	同
勝田汽船株式會社			
岡崎汽船株式會社			
太平洋運株式會社	靖和商會	大連—内地	撫順炭及滿洲特産

乾汽船合名會社			
南洋郵船株式會社			
村尾汽船合資會社	後藤商會	大連—内地 大連—南洋	滿洲特産その他
國際汽船株式會社			
川崎汽船株式會社			
神戸東和汽船株式會社	東和汽船株式會社大連支店	大連—内地、朝鮮	滿洲特産
戸田汽船株式會社			
大通輪船有限公司			
藤岡汽船株式會社			
大通公司	宮崎商會	大連—南支 大連—裏日本	同
士美洋行			
威運公司	丸二商會	大連—威海衛、青島、海州 大連—臺灣	同
大連汽船株式會社			
田中汽船合資會社	田中商事株式會社	大連—内地 大連—南洋(ジャバ、マニラ)	撫順炭その他
八幡製鐵所	高橋商會	大連—支那沿岸、朝鮮、臺灣、日本 大連—八幡	滿洲特産 石炭
帝國汽船株式會社	帝國汽船大連出張所	大連—内地	滿洲特産
政記輪船股份公司	政記公司	大連—南支	同
上海恒安公司			
華興輪船股份公司	華興公司	大連—上海	同
天津北方航業公司			

上裕 海康 中輪 華船 公 司
China Navigation Co. Ltd

裕 康 輪 船 代 理 行
太 古 洋 行

大連—廈門
大連—香港、上海、牛莊

滿洲特産
同

二、不定期船の季節的状況

貨物の出廻りを追ひ、有利なる備船料と運賃とを求めて轉々運航するを特質とする不定期船の海運現象は貨物の集散状況によつて支配される。而して不定期向貨物の主要條件は一時に多量の荷動きあることで、穀類、石炭、礦石、肥料類、材木、砂糖、紡績原料等は此の種貨物として一般に認めらるゝところである。之を大連港の主要輸出貨物に就て見るに大豆、豆粕、石炭等の所謂不定期船向貨物を以て大宗とするは周知の事實で、大連港の船舶狀況が不定期船によつて特色付けられ居るは豫め推知するに難くない。尙又不定期船向貨物は性質上運賃負擔力の尠きものなると同時に多くはその荷動きに季節的關係を有するものである。従つて不定期船の往來が季節的影響により變化の妙を描出するは自然の數であらう。本項は主として此の不定期船に關する季節的變動を檢討しつゝ大連港に於ける船舶狀況の一斑を考察せんとするものである。

いま、過去五箇年間の趨勢を見るに次の如くである。(左の數字は大連埠頭繫留船舶統計に據りしものにて定期船不定期船別統計としては稍々適切を缺ぐ嫌あれど他に據るべきものなきを以て姑く之を採る。)

年 月	定 期 船			不 定 期 船		
	隻 數	總 噸 數	噸 數	隻 數	總 噸 數	噸 數
大 正 12. 1 月	58	165,422	126	410,111		

2	64	167,326	117	338,078
3	70	191,615	153	390,883
4	76	173,007	149	430,280
5	81	190,806	145	413,031
6	75	200,443	104	332,516
7	74	209,400	77	214,147
8	70	160,927	63	168,670
9	72	184,919	55	127,590
10	73	169,719	66	171,969
11	61	139,026	58	207,298
12	63	152,311	74	293,321
1	62	165,769	100	340,404
2	52	133,545	103	372,724
3	71	164,357	102	378,321
4	67	155,199	95	365,514
5	77	219,012	98	299,650
6	68	178,155	88	269,289
7	64	140,521	74	220,023
8	57	133,585	80	232,774
9	63	163,441	78	220,840
10	77	194,020	96	251,894
11	74	188,519	133	336,209
12	79	204,848	167	464,354

大 正 14.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	昭 和 1.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	76	71	79	88	90	80	83	84	91	94	102	91	93	74	73	106	110	117	110	102	101	115	108	108
	186,552	174,914	182,500	189,228	187,405	161,811	178,281	194,849	188,494	210,712	195,881	183,799	186,395	174,657	172,861	270,258	264,030	312,622	244,789	237,058	245,378	289,824	255,814	255,814
	175	162	173	161	158	131	88	98	91	137	164	180	171	116	156	170	158	106	95	83	85	91	112	112
	452,776	438,117	438,722	512,908	432,632	343,124	261,971	252,742	275,480	418,317	516,057	550,798	526,272	356,197	477,957	494,934	431,083	301,003	297,280	233,025	257,667	278,153	337,466	337,466

12	102	234,485	136	448,162
1	100	259,176	131	445,801
2	83	213,428	124	388,402
3	108	248,725	168	450,809
4	115	316,615	169	445,072
5	120	322,434	160	434,476
6	110	288,178	115	335,599
7	124	335,643	94	277,544
8	119	294,432	105	289,147
9	117	300,145	108	298,145
10	123	308,093	102	319,210
11	118	299,724	118	347,073
12	124	332,486	126	342,102

右の數字に據れば定期船は年別に觀れば最近一兩年來その數を増加してゐるが、月別數に於ては毎年度各月の出入數略々一定し、その増減傾向も各年必ずしも一致せず規則的變化を見ない。然るに不定期船にあつては極めて規則的なる季節的變化を示せるは興味ある現象と云はねばならぬ。即ち毎年上半期に於て船腹増大し六月頃より漸次減少傾向に移り七、八兩月は所謂夏枯れ現象を表し九月を以て極減期としてゐる。十月よりは漸次恢復し變化の波は再び高潮に移る。その波長が極めて顯著なる高低を示すことは前掲の實數統計に就ても明瞭に看取し得る處である。尙別掲圖表を参照さるゝならばこの間の現象は一層明白に把握されるところと思ふ。

(註) 前掲定期船、不定期船別統計數字は日本船のみにて外國船に關しては此の種の船種別統計資料を缺くのであるが、支那船舶は概して不定期船にして歐米遠洋航路外國船は略し定期に寄港するを以て、前者は不定期船の傾向に近似し、後者は定期船舶的なを見る。左に前記大連埠頭繫留船舶統計より外國船の數字を抽出表示すれば次の如くである。

支 那 船 船

年 別	昭和 2 年	昭和 1 年	大正 14 年	大正 13 年	大正 12 年
1	88	97	81	100	122
2	81	77	95	74	92
3	118	79	112	96	143
4	69	65	61	53	80
5	79	52	75	56	79
6	75	55	71	57	79
7	80	60	65	55	67
8	60	61	53	51	70
9	50	35	50	45	47
10	70	45	49	30	52
11	72	74	69	67	62
12	85	89	74	78	85
	97,674	101,049	74,517	99,105	122,473
	82,772	80,383	98,519	75,375	97,866
	120,541	75,990	120,890	83,605	142,893
	78,838	70,747	68,455	60,892	97,481
	90,572	55,798	96,290	57,690	89,079
	94,644	67,293	82,556	64,397	91,575
	107,929	67,460	72,661	70,742	69,149
	69,761	66,316	55,783	53,200	68,264
	65,275	41,077	59,771	46,885	54,503
	75,306	59,971	51,741	30,670	51,079
	82,958	94,482	83,557	52,695	62,385
	82,349	94,320	74,745	85,957	77,517

其 他 外 國 船

年 別	昭和 2 年	昭和 1 年	大正 14 年	大正 13 年	大正 12 年
1	42	55	37	34	38
2	37	36	38	31	25
3	38	56	39	38	32
4	30	43	40	34	38
5	53	33	28	31	30
6	51	49	23	31	35
7	45	42	16	26	36
8	48	47	29	39	28
9	41	39	12	20	31
10	36	47	35	21	30
11	33	53	52	44	35
12	42	48	59	43	39
	239,043	234,947	180,589	193,296	281,625
	192,253	186,734	141,077	198,434	125,803
	194,713	220,301	190,755	233,463	154,049
	227,830	215,157	219,395	195,130	222,813
	271,080	169,633	165,147	192,366	174,951
	259,377	259,052	144,519	179,911	196,909
	270,521	212,117	98,966	113,320	152,614
	267,321	257,171	169,263	219,753	165,621
	227,908	188,528	75,193	120,936	190,529
	185,208	257,104	99,860	105,107	161,897
	184,471	278,103	230,326	209,440	179,776
	256,571	239,938	286,716	214,324	218,902

大連港出入船舶噸數月別表 (單位總噸數)

定 期 船 (郵船)

年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
大正 12	165,422	167,926	191,615	173,007	190,906	200,443	209,400	160,927	188,919	169,719	139,026	152,311

横 門 船 隻

第二節 郵 船

表11

年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
大正	13	165,769	133,545	164,357	155,199	209,012	178,155	140,521	133,585	163,441	194,020	188,519	204,845
同	14	185,552	174,914	182,500	189,228	187,405	161,811	178,281	194,849	188,494	210,712	195,881	183,799
昭和	1	186,395	174,657	172,861	270,258	264,030	312,622	244,789	237,058	245,378	280,824	255,814	234,485
同	2	259,176	213,478	248,725	316,615	322,434	288,178	325,443	294,432	300,145	308,093	239,724	332,486
平均		192,463	172,894	192,012	220,851	234,737	228,242	219,727	204,170	217,277	232,674	215,793	221,586

不定期船 (邦船)

年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
大正	12	410,111	338,078	330,833	430,833	413,031	332,516	214,147	168,670	127,530	171,969	207,298	293,321
同	13	340,404	372,724	378,331	315,514	299,650	269,289	220,023	232,774	220,840	251,504	336,309	464,354
同	14	452,775	435,117	438,722	512,508	432,632	343,124	261,971	252,742	275,480	418,317	516,057	530,798
昭和	1	526,272	356,197	477,957	494,934	431,033	301,073	297,230	233,025	257,667	278,153	337,466	448,162
同	2	445,801	383,402	450,899	445,072	434,476	335,599	277,544	289,147	298,149	319,210	347,073	342,102
平均		435,073	377,104	427,328	449,912	402,164	316,306	254,193	235,272	235,945	287,909	348,821	419,747

支那船舶

年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
大正	12	122,473	97,806	142,803	97,481	89,079	91,575	69,149	68,264	54,503	51,079	63,386	77,517
同	13	99,105	75,375	83,695	69,892	57,630	64,397	70,742	53,200	46,885	39,670	52,695	85,957

同	昭和	平均	14	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			74,519	98,519	120,830	68,485	96,220	82,556	72,661	55,783	59,771	51,741	89,557	74,745	
			101,049	89,383	75,990	70,747	55,798	67,293	67,460	66,316	41,077	59,971	94,482	94,320	
			97,674	82,772	120,541	78,838	90,572	94,644	107,929	69,761	65,275	75,306	82,958	82,349	
			58,964	86,961	108,772	75,291	77,572	80,093	77,588	62,665	53,502	53,753	74,616	82,978	

其他外國船

年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
大正	12	218,625	125,803	154,049	222,813	174,951	196,909	152,614	165,621	190,529	161,897	179,776	218,902
同	13	193,296	198,434	233,463	195,130	192,366	179,911	113,320	219,753	120,936	105,107	209,440	214,324
同	14	180,589	141,077	190,755	219,395	165,147	144,519	98,565	166,263	75,193	199,860	230,326	286,716
昭和	1	234,947	186,734	220,301	215,157	168,633	258,052	212,417	257,171	188,528	257,104	278,103	239,938
同	2	229,043	192,253	194,713	227,830	271,080	259,377	270,521	267,321	227,908	185,208	184,471	256,571
平均		211,300	168,860	198,656	216,965	194,435	207,754	169,508	215,226	169,699	181,835	216,423	243,290

次に、この不定期船の季節的出入関係と相対照して一瞥に値するは貨物集散情況との相関性之である。かゝる相関性は統計圖表を用ゆることによつてその觀察を最も簡明適確ならしめ得るもので、別掲第二圖は之を示したものである。(該圖表の貨物線は最近十箇年船舶線は五箇年の月別平均數である。)

圖表の示すが如く輸出貨物は典型的季節變動を表し、輸入貨物は之に比しその變動頗る緩慢なるを見る。更にその船腹との相關々係を見るに不定期船は輸出貨物に追隨すること洵に忠實なるを示し、定期船は是等に無關心なる變化

を表すも、變動の微弱なる點に於て輸入貨物と同巧異曲の感がある。思ふに、前者は輸出貨物が不定期船の往來に至大の關係あるを示すものであり、後者は季節的變動の傾向薄弱にして單に間接的影響を受くるものとすことが出来る。

大連港輸出貨物噸數表

年 月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
昭和 2年	626,153	679,541	720,538	680,929	745,641	68,832	569,675	490,226	506,798	479,392	474,198	547,876
同 1年	600,582	507,274	561,019	542,505	505,525	465,295	310,150	315,427	300,996	366,769	473,602	448,317
大正 14年	604,238	563,741	579,235	538,976	455,049	346,916	268,579	233,475	279,282	320,360	492,629	644,815
同 13年	488,568	453,753	491,624	441,494	409,649	311,909	227,745	219,320	243,336	320,716	395,671	542,267
同 12年	469,413	459,579	551,504	498,819	524,122	308,281	264,022	184,268	155,461	237,711	265,321	414,611
同 11年	390,109	433,941	429,249	489,324	462,458	326,530	214,180	143,874	146,985	181,353	345,146	528,282
同 10年	297,583	276,605	389,194	398,328	291,681	260,278	192,318	136,861	187,237	207,497	223,888	389,264
同 9年	256,011	251,193	283,647	268,880	375,376	269,389	174,711	125,030	182,926	261,257	291,220	324,996
同 8年	197,784	219,117	294,453	302,631	312,233	285,397	222,736	183,196	150,569	183,829	239,483	221,728
同 7年	235,276	177,830	247,392	198,578	214,671	246,183	209,251	146,870	193,038	169,889	188,628	263,548
10箇年平均	415,576	398,257	454,785	436,054	429,641	359,101	270,337	217,855	234,573	272,877	338,979	432,570

大連港輸入貨物噸數表

年 月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
昭和 2年	95,518	56,988	88,259	85,207	79,102	87,041	93,051	82,325	96,192	104,246	96,612	111,538

昭 和	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	
大正	111,637	77,801	85,737	101,244	85,925	72,500	91,405	104,714	92,806	103,314	106,419	107,497	
同	82,568	77,322	82,326	77,597	61,032	72,854	97,027	83,816	92,726	99,552	92,878	80,394	
同	87,360	72,552	128,967	91,166	99,831	69,688	60,186	63,737	53,580	50,404	84,179	125,228	
同	62,521	56,929	61,932	70,980	63,399	64,912	59,279	57,148	59,001	51,480	87,961	101,063	
同	58,691	53,246	63,893	61,764	72,493	38,894	54,238	55,594	61,271	67,475	58,941	71,116	
同	62,164	48,896	71,612	71,601	64,461	45,641	58,746	64,883	57,351	85,427	72,528	60,667	
同	9年	126,491	97,826	117,382	85,743	73,115	76,891	51,691	67,647	61,760	73,047	88,843	58,779
同	8年	66,528	72,606	117,770	108,287	101,688	135,321	107,937	127,571	150,103	121,875	144,082	
同	7年	69,572	60,921	76,542	69,028	69,163	66,457	72,185	74,919	89,901	102,126	94,143	111,588
10箇年平均	84,308	67,419	89,442	82,250	77,111	73,020	77,466	76,272	79,221	89,717	89,388	97,195	

最後にかゝる季節的變動を親ふ別箇の資料として空船出入の状況を見るに大連港に於ける船腹と貨物の需給關係に興味ある一面を發見することが出来る。

船舶が揚荷を積載せずして入港し、又は貨物の積込みをなさずして出港する場合は必ずしも同一事情に因らない。即ち揚荷を有せざるも載貨をなすが爲め入港するもの、揚荷を搭載して入港せるも載貨を得ずして出港せるもの等經濟現象を反映する場合と、單に航海上の必要より薪炭用水の補給をなす爲寄港し従つて輸出入貨物との關係稀薄なるものがある。然し乍ら之を大數的に觀察すれば空船の出入と貨物の集散とが見えざる經濟現象の綾をなせるを知るものである。いま最近三箇年の趨勢を概観して略々次の如く云ふことが出来る。

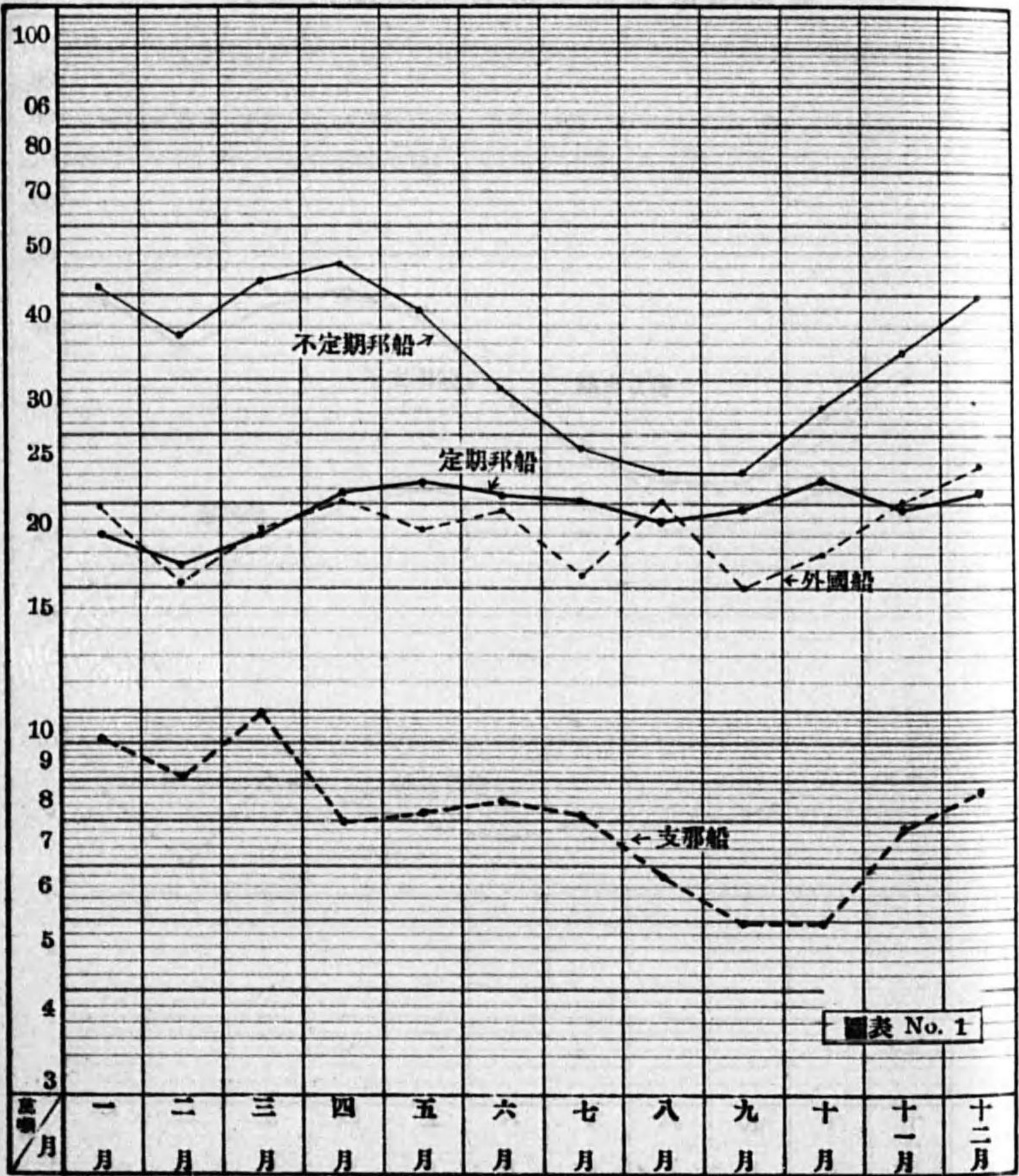
空船入港は夏より秋にかけて減少し冬より春にかけて増加する。之冬季より春季に互つては大連港の輸出期にして近海トランパーの載貨を得るに急にして相競ふて廻航するによる。空船出港は之に反し、夏季は船舶の來航減少する

に拘らず尙空船出港数を減ずることなく寧ろ増加するを通例とするやうである。
 以上は大連港に於ける船腹消化力の季節的關係を概念的に述べたのであるが、かかる現象の現實的觀察には經濟界の好況不況をも考慮せねばならぬのは勿論であらう。之に關する綜合的研究は別の機會に譲り本項に於ては之を以て單に不定期船に關連せる船舶狀況の季節的變化の一面を指摘するに止める。

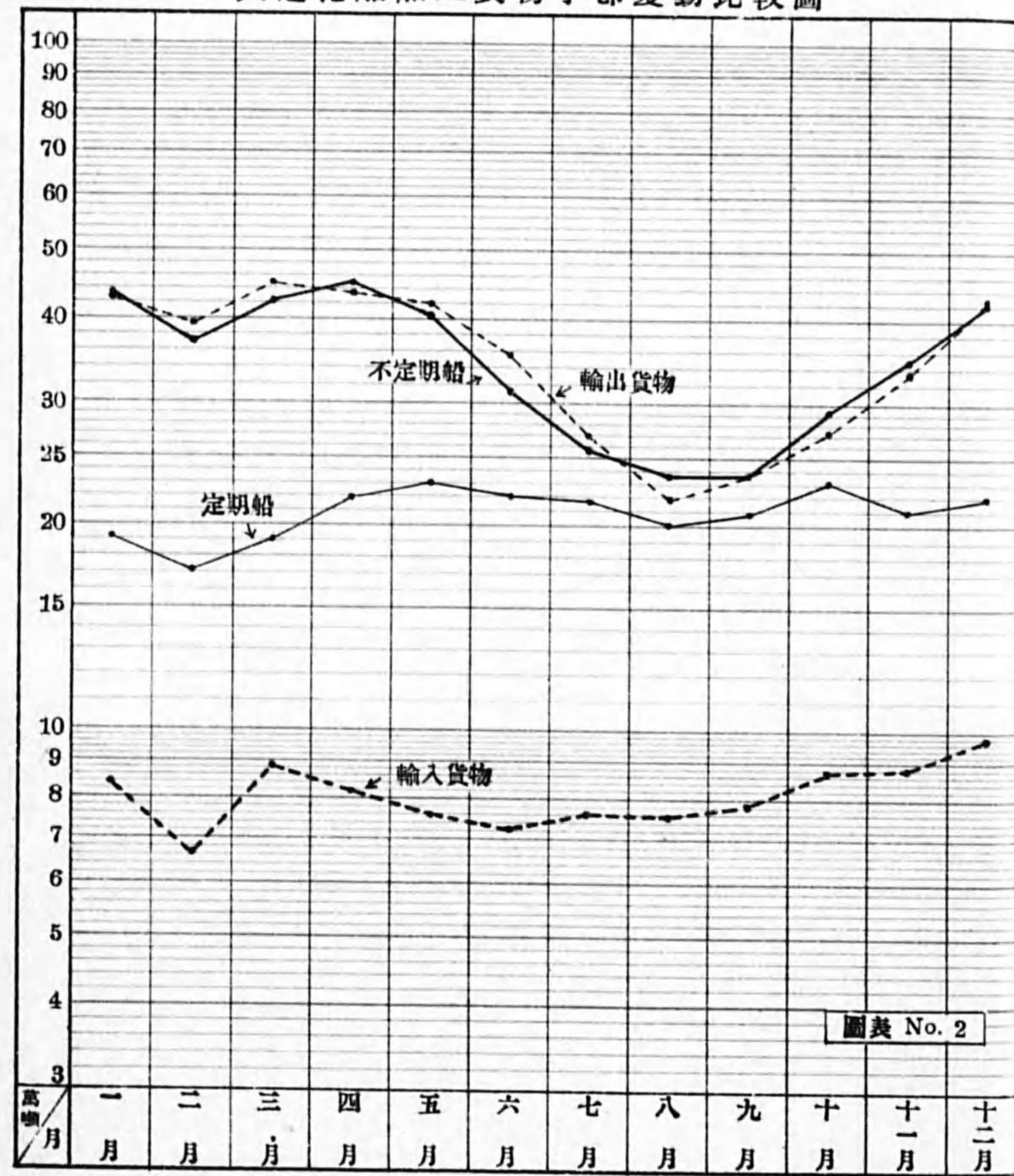
大連港空船出入表

年 月	入 港			出 港		
	日 本 船	外 國 船	合 計	日 本 船	外 國 船	合 計
大正 14. 1	90	14	104	19	12	31
2	77	8	85	10	6	16
3	77	8	85	10	7	17
4	73	15	88	13	11	24
5	57	20	77	17	8	25
6	45	21	66	21	12	33
7	33	6	39	20	9	29
8	49	5	54	14	13	27
9	31	7	38	20	8	28
10	68	9	77	15	8	23
11	76	22	98	18	10	28
12	78	18	96	9	7	16
昭和 1. 1	74	21	95	10	9	19
計	279,431	55,040	334,471	21,401	33,967	55,428
	233,498	29,846	263,344	19,764	20,276	40,040
	223,555	24,860	248,415	15,432	26,433	41,905
	236,551	43,431	279,982	19,683	44,551	64,234
	179,413	56,181	235,594	41,321	48,019	59,340
	133,758	69,445	196,203	30,325	52,381	82,606
	94,801	7,682	102,483	42,553	43,583	86,136
	130,750	15,325	146,075	20,223	58,543	78,766
	99,061	24,039	123,100	47,570	36,825	84,395
	218,084	39,761	257,845	22,463	8,645	31,108
	223,981	44,741	268,722	41,342	17,323	58,665
	250,370	61,514	311,884	16,926	16,276	33,202
	230,225	47,346	277,571	12,136	17,198	29,334

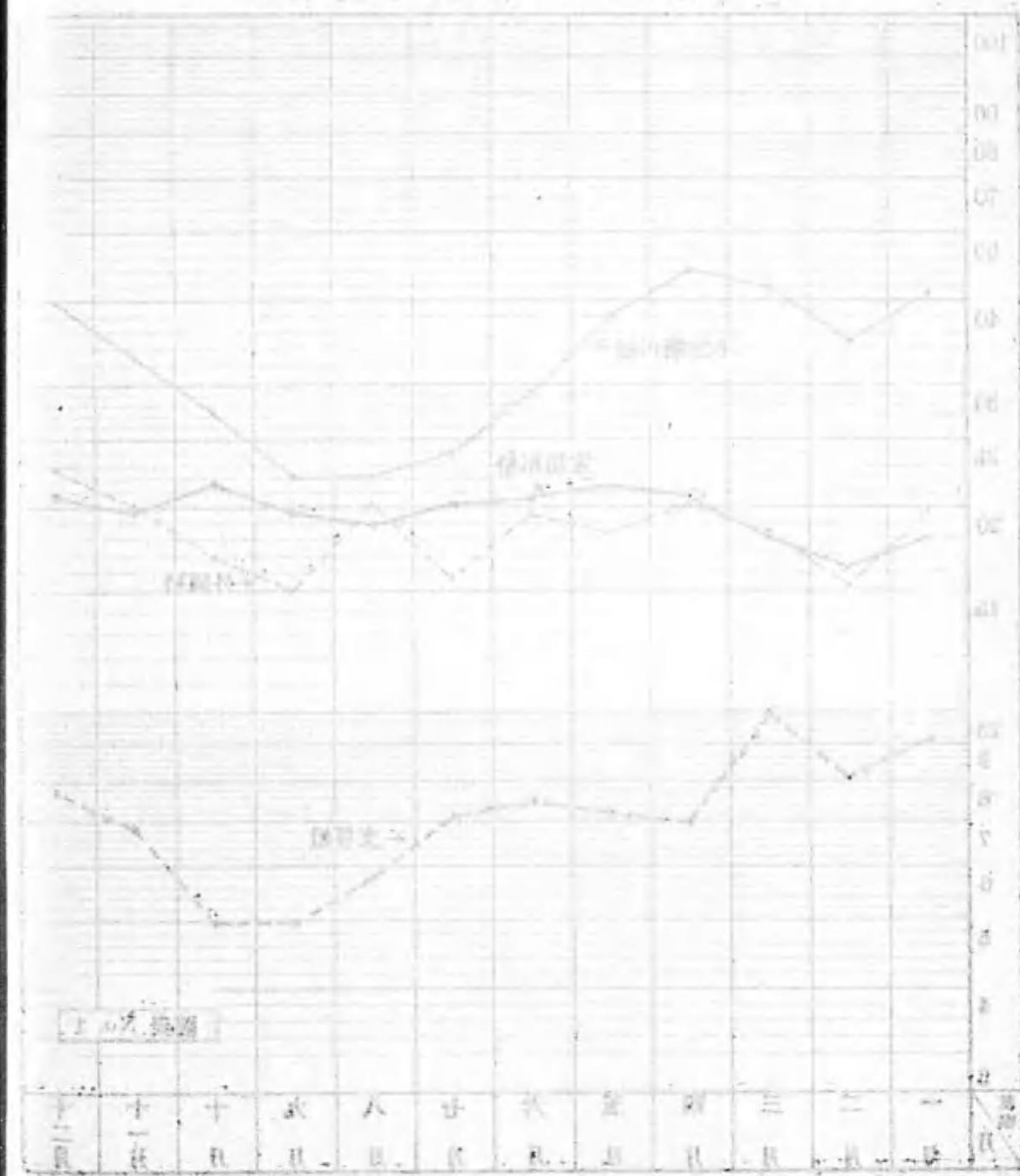
大連港入港船舶季節變動圖



大連港船舶並貨物季節變動比較圖

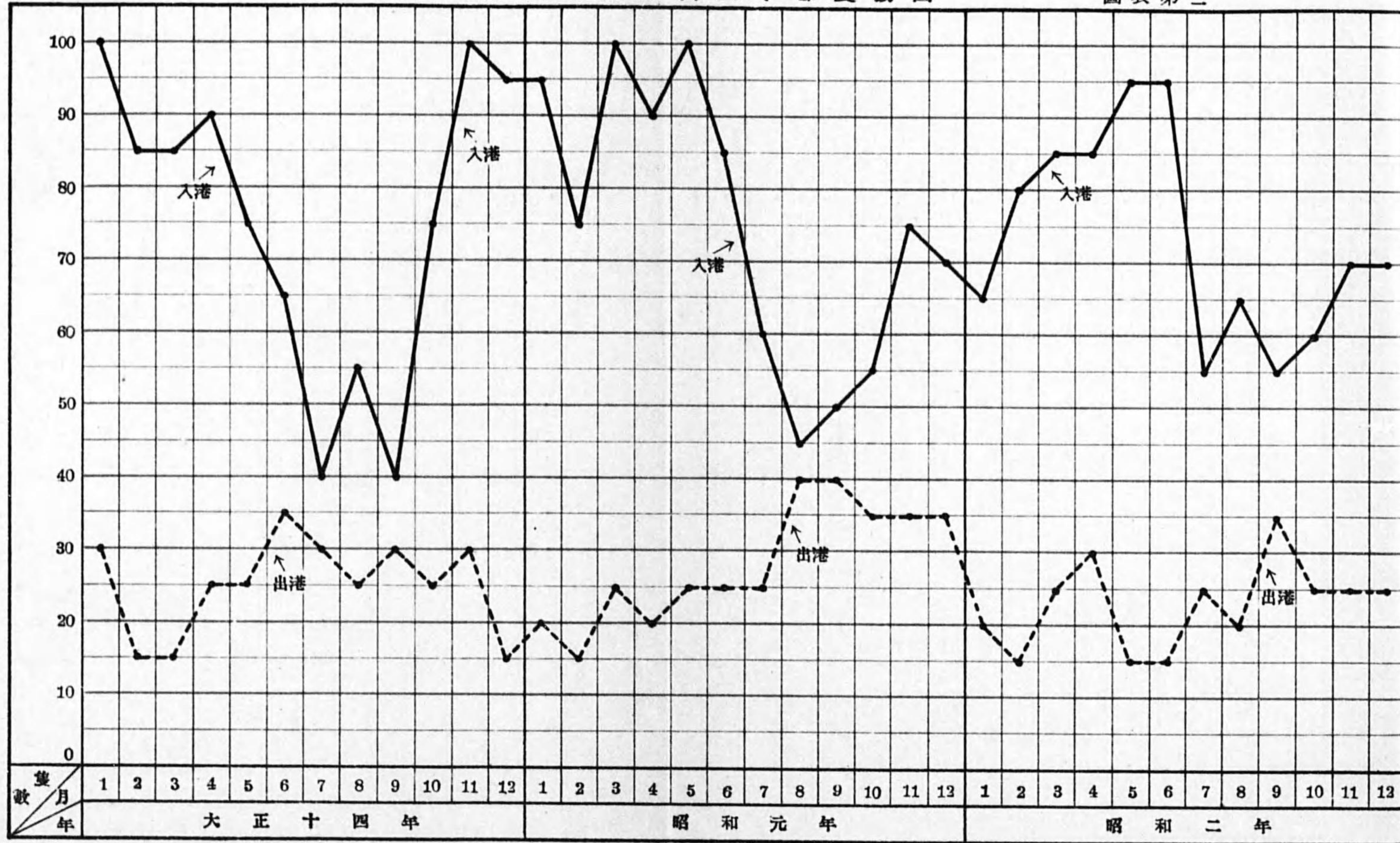


大連港船舶並貨物季節變動比較圖

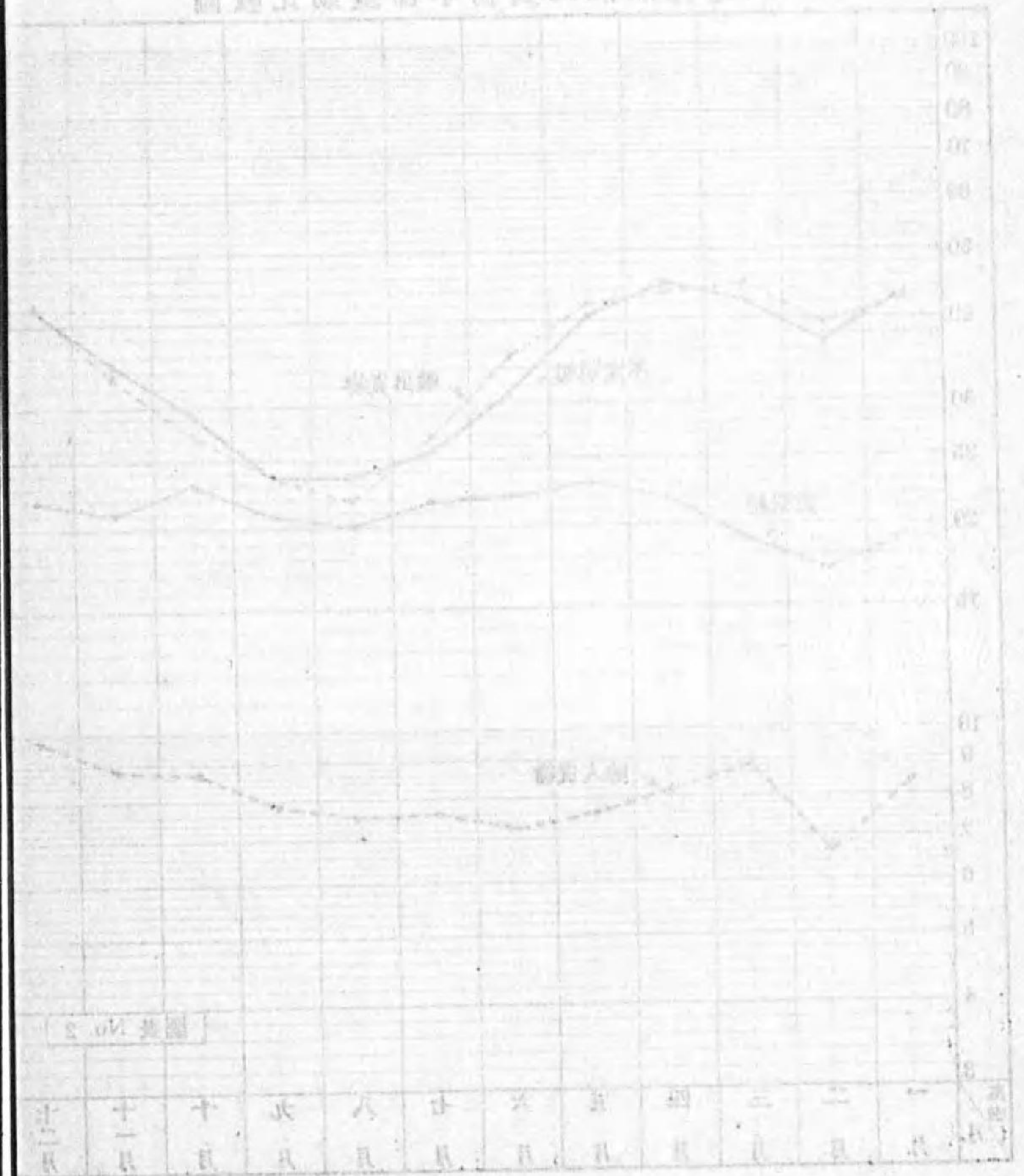


大連港空船出入季節變動圖

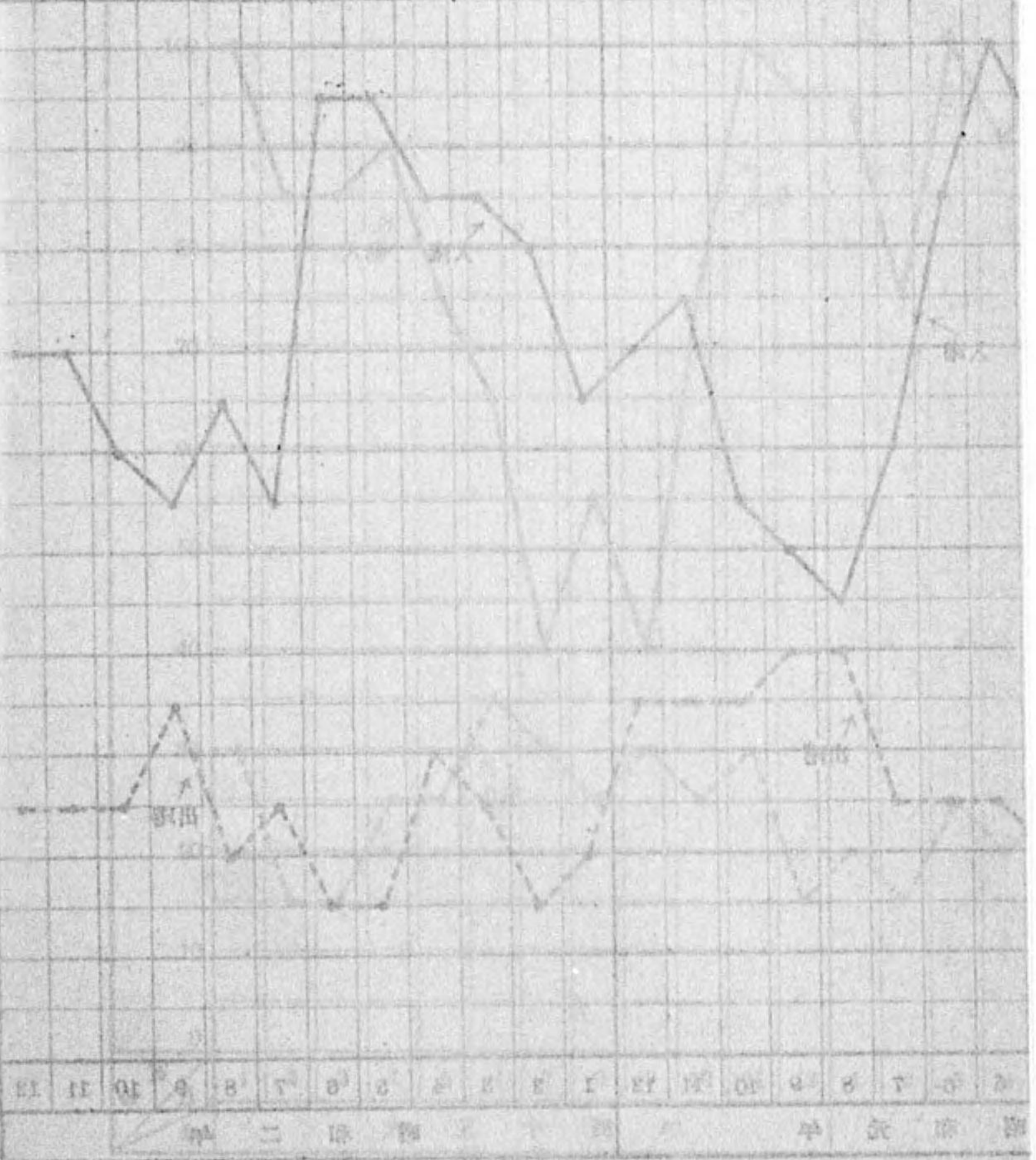
圖表第三



關於出廠量與考時量以測試新車



出入船隻圖表



昭和	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.	12.
	52	56	63	74	70	72	42	43	49	54	54	56
	162,903	196,222	192,210	236,888	227,063	227,983	134,163	167,456	165,402	191,566	188,264	188,264
	25	11	15	11	16	25	23	10	10	15	13	13
	48,173	23,485	25,685	34,107	54,009	88,865	96,419	43,041	27,285	53,080	38,944	38,944
	77	67	78	85	86	97	65	53	59	69	69	69
	211,076	219,707	217,875	270,995	281,072	316,848	230,582	210,497	192,687	244,626	227,208	227,208
	10	12	10	10	19	10	16	23	11	9	11	11
	30,238	24,862	12,486	19,286	36,630	16,731	31,026	34,128	15,186	15,660	31,839	31,839
	4	9	5	14	10	7	5	12	14	15	12	12
	13,874	2,355	9,321	34,023	26,259	16,544	10,903	26,659	35,068	30,915	39,082	39,082
	14	21	15	24	29	17	21	35	25	24	23	23
	44,112	45,217	21,807	53,308	62,889	33,275	41,929	60,787	50,254	46,575	70,921	70,921

第二章 船

大

昭和	1	2	3	4	5	6
昭和	3.	1	2	3	4	5
噸	53	72	76	71	56	53
噸	166,890	231,900	249,980	255,793	197,182	213,739
噸	11	13	17	20	23	19
噸	42,410	52,375	77,452	76,957	76,701	45,165
噸	64	85	93	91	79	72
噸	209,300	284,365	327,382	332,750	273,853	258,904
噸	6	11	9	9	17	8
噸	13,985	13,378	19,750	17,941	45,404	23,261
噸	5	9	16	12	9	7
噸	22,075	28,569	39,331	35,914	29,253	27,077
噸	11	20	25	21	26	15
噸	36,070	41,247	59,081	53,985	74,657	50,338

第二節 營口港の船舶狀況

營口を中心とする航路狀況に就ては次章「海運市場」に於て併せ記述するを便宜とするを以て本節には専ら出入船舶數よりの概観を試みるであらう。唯茲に一言すべきは右の數字の基礎に就てある。營口出入船舶數に關する最も信頼すべきものとしては北支那貿易年報であるが、運航方向觀察の必要上海關日報より算定せる數は之と合致しない。故に出入數そのものに關する資料としては前者を參考すべく、後の目的即ち運航方向の觀察には後者による外はない。別表この兩者を掲げたればその船隻數に就ての敘述は省略し、當港出入船舶が主として何處より來り何處へ往くかの航運關係に就き一瞥しやう。

別表の數字に據ればその主たる發航地は支那船にあつては天津、復州、龍口、上海、日本船は天津、大連、龍口、上海、日本、外國船は天津、上海等であり、主要仕向港としては支那船舶の天津、復州、大連、龍口、上海、汕頭、日本船舶の天津、大連、龍口、日本内地、外國船舶の天津、大連、上海及南支諸港(厦門、汕頭、廣東)を擧げることが出来る。

右の如く營口の航運關係は滿洲と支那本土沿岸の連絡を主とし纔かに邦船によりて日本内地との交易を便するに過ぎぬ。而して現在日本船舶の寄港は主として日本内地と北支那の連絡航路に従事するものにして未だ營口を基點とし支那沿岸の航運を目標として運航するもの少きは華船と對比すれば明瞭に看取さるところであり、この方面の發展は相當留意さるゝ價値はないであらうか。尤も此の點に關しては排日貨に伴ふ邦船不積の場合の對策、結氷期の船繰り等營業者に於て豫め考慮を要するは云々までもない。

思ふに營口の航運上の地位たる、一つに滿蒙第二港としての利用價値を如何に發揮するかにある。唯その河港たる點に於て又冬季の閉鎖を餘儀なくされる點に於て大商港としての素質を缺くのみ。この意味に於て大連港とは對立的に考へらるべきでなく背後地貨物の輸送上に於ても將又海運業者の船舶運用上に於ても兩港相連絡せしめてその經營策を講究すべきであらう。

營口入港船舶數 (北支那貿易年報に據る)

年	國籍別	支那船	日本船	其他外國船	合計
大正	12年	265	107	185	457
同	13年	251	93	158	502
同	14年	363	237	144	744
昭和	1年	332	207	161	700
同	2年	343	199	135	677
噸		202,310	105,324	245,911	554,545
噸		199,759	102,335	200,571	502,665
噸		259,465	205,545	211,341	676,351
噸		245,342	213,290	224,623	683,255
噸		274,157	191,224	178,068	643,449

營口出港船舶數

中

年次	國籍別	支那船		日本船		其他外國船		合計
		支那	日本	其他	外國			
大正 12 年	12 年	265	202,310	107	105,324	185	245,911	557
大正 13 年	13 年	251	199,759	93	102,335	158	200,571	502
大同 1 年	1 年	332	225,661	230	201,037	142	210,240	704
昭和 1 年	1 年	313	230,903	205	208,752	155	217,701	673
昭和 2 年	2 年	327	256,662	197	190,059	135	178,068	659
								553,545
								502,665
								646,938
								657,356
								624,789

營口入港船舶出港別表 (滿洲經濟統計月報に據る)

國籍	年度	支那船		日本船		其他外國船		合計		
		支那	日本	其他	外國					
天津	1927	191	213	214	124	99	146	33	21	348
	1926	129,476	126,353	111,624	102,311	84,103	107,981	43,540	23	39,385
秦皇島	1927	2	3	4	7	2	1	2	3	11
	1926	1,051	1,975	2,948	4,240	1,171	579	2,864	4,323	8,155
復州	1927	67	13	11	—	54	72	—	—	67
	1926	33,880	6,502	6,382	—	25,025	36,030	—	8	33,880
大連	1927	7	12	9	18	32	38	—	5	33
	1926	7,154	9,694	8,214	24,620	34,316	43,308	16,664	1,434	9,718
										48,438
										45,444
										61,240
										1

國籍	年度	支那船		日本船		其他外國船		合計		
		支那	日本	其他	外國					
安東	1927	2,875	1,136	1,128	—	—	—	—	—	2,875
	1926	3	3	2	1	—	—	—	—	9
東果	1927	3,920	3,352	1,791	906	—	—	—	—	11,090
	1926	7	5	8	—	2	4	—	—	11
龍口	1927	7,067	4,552	6,585	—	2,156	4,022	5,236	8,693	3,913
	1926	102	90	93	28	32	36	1	—	1
青島	1927	47,533	35,240	39,063	10,390	12,056	16,906	1,428	—	59,351
	1926	6	1	1	6	5	6	—	—	3
上港	1927	3,824	664	764	4,878	4,431	5,362	—	—	3,579
	1926	90	87	99	18	32	14	61	110	69
漢口	1927	90,798	90,912	95,937	24,618	48,545	16,221	84,513	143,383	88,494
	1926	—	—	—	—	1	—	—	—	1
寧波	1927	—	—	—	—	2,104	—	—	—	1,228
	1926	—	—	—	—	1	—	—	—	—
興泉	1927	3,894	916	916	—	1,074	—	—	—	3,894
	1926	3	2	—	—	—	—	—	—	3
廈門	1927	3,311	2,256	—	—	—	—	—	—	3,311
	1926	1	—	—	—	—	—	—	—	1
汕頭	1927	4,949	—	496	—	—	—	—	—	496
	1926	5	—	2	—	—	—	—	—	5
海口	1927	2,522	5,139	1,016	—	—	—	—	—	2,081
	1926	—	—	—	—	—	—	—	—	2
										2,819
										3,750
										8,337
										3,885

中

目的地	1927		1926		1925		1924		1923		1922		1921		1920	
	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻
福州	7	1,724	4	4,574	1	1,287	10	10,616	1	1,222	17	18,430	7	6,445	2	1,724
香港	3	3,048	3	3,377	1	2,328	5	10,616	2	1,812	4	2,972	6	4,881	3	3,550
廣東	1	496	1	2,127	1	1,287	3	4,385	1	1,812	4	2,972	6	4,881	3	3,939
其他支那諸港	2	496	2	2,127	3	5,082	3	4,503	—	—	—	—	6	6,305	1	582
日本	1	1,005	1	23,808	25	23,808	23	20,880	2	19,957	—	—	5	24,813	—	20,890
朝鮮	2	2,256	—	29,420	3	29,420	—	—	—	—	11	31,676	3	31,676	5	2,670
其他外國	—	—	—	—	—	—	3	3,443	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	7	6,445	4	17,224	1	1,287	10	10,616	2	1,812	17	18,430	7	6,445	2	1,724
合計	356,937	290,475	285,925	227,341	240,893	259,425	184,684	220,520	209,949	768,962	751,893	755,299				

管口出港船舶任向港別表 (滿洲經濟統計月報に據る)

仕向港	1927		1926		1925		1924		1923		1922		1921		1920	
	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻
支那	152	179	177	33	30	46	19	14	5	204	223	228				
日本	83,390	90,781	82,643	22,491	19,237	26,920	14,350	20,282	8,600	120,281	130,300	118,163				

目的地	1927		1926		1925		1924		1923		1922		1921		1920	
	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻
秦皇島	1	496	2	1,716	5	4,386	3	2,061	3	1,923	1	689	3	3,637	2	4,571
復州	66	16	13	9,647	18	15,495	33	42,020	50	37,693	60	24,483	19	24,483	21	28,683
大連	31	30	30	8,204	18	9,647	33	42,020	50	37,693	60	24,483	19	24,483	21	28,683
旅順	—	—	1	1,684	3	2,397	—	—	—	—	4	2,991	—	—	—	—
安東	—	—	7	8,275	7	8,045	1	841	—	—	3	2,408	2	2,448	—	—
芝罘	6	11	17	17,231	17	17,231	—	—	—	—	1	1,258	4	4,585	7	8,978
龍口	95	92	88	41,710	88	34,055	28	12,577	32	9,385	42	18,646	—	—	3	3,065
青島	10	10	2	41,710	2	34,055	2	12,577	—	—	—	—	3	5,054	—	—
上海	77	33	60	1,985	60	1,985	20	768	8	—	9	—	16	8,315	—	—
漢口	—	—	—	30,885	—	56,714	10	14,851	15	7,519	2	10,694	1	17,852	45	69,630
寧波	—	—	—	—	—	—	10	14,851	15	7,519	2	10,694	1	17,852	45	69,630
其他	1	—	—	—	—	—	10	14,851	15	7,519	2	10,694	1	17,852	45	69,630
合計	1,044	10	664	3	6	1	1,617	1	1,617	1	1,617	1	1,617	1	1,617	1

一 章 船 種	二 四												
	10,143	3,353	4,696	857	1	1	1	1	1	875	10,143	4,210	5,571
泉 州	4	2	5	1	1	1	1	1	1	1	4	2	5
厦 門	10	1	8	2	2	5	17	21	21	2	29	25	15
汕 頭	24	39	24	4	1	17	17	6	33	33	41	49	58
福 州	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1
香 港	2	1	7	2	1	4	1	1	7	7	8	2	15
廣 東	10	17	5	12	13	13	13	6	3	3	27	35	12
其他支那諸港	4	3	1	7	8	8	8	2	2	2	18	12	11
日 本	1,849	2	1,055	6,977	5,446	12,174	2,349	2,993	2,993	2,993	22,363	9,644	1,11,130
朝 鮮	2,256	2	2,256	5,283	2,367	7,539	7,539	7,539	7,539	7,539	7,539	4,623	14
其他外國	506	439	442	226	282	308	134	155	138	138	866	876	888
合 計	348,030	294,733	286,206	200,357	245,310	227,213	175,447	216,308	202,209	723,834	756,351	715,628	

第三節 安東港の船舶狀況

安東港の航路關係に就ては次章に於て併述するであらう。こゝには前節に倣ひ船舶の出入方面を數字的に表示するに止める。本節に引用した左掲統計資料は安東海關月報に據つたものである。同表によれば日本、朝鮮方面との關係頗る稀薄であるが、右は何等か記録上の關係にて計上されないもので事實上はこの方面よりの入港船相當あるものと思はれる。別に掲げし北支那貿易年報の數字は方面別内容を窺ひ得ないが總數の上に於て前者と可成りの差がある。この差數が日本朝鮮方面との船舶關係推定數に近似するは記述上好都合なれども、猶然りと斷言することは出来ぬ。乍然、右の計數は略々その實勢を示すと見て大過なしと信ずる。

安東港入港船舶數 (北支那貿易年報に據る)

年 次	國 籍 別		支 那 船	日 本 船	英 國 船	其他外國船	合 計
	年	年					
大 正	12	171	76,150	446	63	73,230	680
同 年	13	113	74,444	403	45	52,958	562
同 年	14	151	79,136	394	34	42,487	579
和 昭	1	128	63,181	406	41	49,483	578
同 年	2	166	104,008	385	27	33,682	583
							290,490

出港數は入港數と同じ

安東入港船舶仕出港別

	支那船舶			日本船舶			其他外國船舶			合 計		
	1927	1926	1925	1927	1926	1925	1927	1926	1925	1927	1926	1925
津	14 噸	10 噸	19 噸	44 噸	43 噸	72 噸	5 噸	3 噸	3 噸	63 噸	56 噸	94 噸
天	11,858	6,525	15,595	32,744	31,215	52,643	6,312	4,064	3,597	50,914	41,804	71,835
島	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
津島	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
口	5	14	6	1	—	2	3	2	1	9	16	9
警	6,729	16,038	6,454	841	—	1,698	3,954	2,094	1,227	1,1524	18,132	9,379
大	30	28	32	9	11	23	1	1	—	40	40	55
旅	15,887	11,720	13,412	6,996	8,865	17,751	1,024	1,501	—	23,907	22,086	31,163
順	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—
芝	—	—	—	699	—	—	—	—	—	699	—	—
龍	104	145	147	1	3	23	—	—	1	105	148	171
石	44,168	56,052	63,257	609	2,445	12,280	—	—	1,482	44,867	58,497	77,040
嘴	22	19	16	2	1	1	1	—	—	25	20	17
龍	7,855	5,930	6,095	1,015	707	813	226	—	—	9,096	6,637	6,908
虎	—	—	—	740	—	—	—	—	—	740	—	—
威	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
青	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	38	26	18	20	3	9	—	—	1	58	20	28

安東出港船舶仕向港別表 (安東海關月報による)

	支那船舶			日本船舶			其他外國船舶			合 計		
	1927	1926	1925	1927	1926	1925	1927	1926	1925	1927	1926	1925
上	26,148	11,726	11,154	10,709	2,365	6,657	—	—	1,338	36,857	14,091	19,149
漢	26	15	22	5	3	—	17	—	24	48	49	46
汕	27,851	14,665	18,053	4,240	2,288	—	22,464	88,231	29,805	54,555	55,184	47,948
汕頭	1	—	—	—	—	—	1,027	—	—	1,027	—	—
香	1,209	—	—	—	—	—	1	2	1	2	2	1
仁	—	—	—	—	—	—	1,027	—	—	1,027	—	—
日	—	—	—	—	—	—	4	1	2	4	1	2
其	—	—	—	—	—	—	5,064	1,222	2,386	5,064	1,222	2,296
他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	141,705	122,656	134,050	68,899	57,069	104,912	41,098	49,236	41,213	251,702	228,961	280,175

天津

中

第三章 海運業者

海運業の企業形態乃至經營方法は頗る複雑多様であつてその經營者を一律に取扱ふことは出来ない。之を海運市場に於ける海運勞務の需給適合状態に就て見ても海運勞務は普通定期船腹、不定期船腹なる二様の形に於て行はれ、不定期船事業は更に三様の形態に分れる。その第一は自己の所有船を運用するものにて、所有に對する報酬と運用に對する報酬を併せ得んことを目的とするものである。その第二は單に船舶を所有して之を他人に運用せしむる形態にして、これを他人に運用せしむることによつて報酬を受くるを目的とするものである。その第三は他人の所有船を運用し、單にその運用に對する報酬を目的とするものである。

他人の所有船を運用するには更に二つの方法が行はれる。その一は船舶の借入 (hiring of ships) であり、その二は備船 (chartering of ships) である。(經濟論叢第二十七卷第二號海運市場に就て「小島昌太郎氏」)

かくの如き海運經營形態の多様性は自ら當業者の態容をも特徴付けることになり、現今所謂海運業者と稱せられるものは大略次の如く類別し得る。

- (一) 郵船、商船以下定期船主の多くの如く自ら各地に集貨機關を設けて直營するもの。
- (二) 三井の如く自己の荷物を輸送する便宜の爲め船舶部を設けて備船乃至運賃積みの方法により他の荷物を輸送し或は自己の荷物を他船に依託することを兼營するもの。

(三) 山下、太平洋海運の如く荷主と船主との間に介在し自己の計算に於て船舶を備船し積荷を引受ける經營を採るもの。

(四) 單に船主若くは荷主側の荷扱店として一定の手數料を目的に集貨乃至配達を營むもの。

(五) 不定期船主の多くの如く單に船主として海員の監督に當るのみの貸船主義の經營を採るもの。(海運興國史四七頁)

右の如く海運業の經營は種々の形態に於て行はれ、其等の連絡關係も複雑であるから、その市場の構成状態の如きも單純に當業者の外形的觀察のみでは到底充分之を窺知し得ないのは勿論である。海運市場研究の興味と實益は同時に又甚だ困難を伴ふものである。本章に於ては唯南滿三港に於ける海業者の業態を示して、その構成する處の海運市場を臚氣ながらも髣髴せしめんとするにあるのみ。

第一節 大連港の海運業者

先づ大連港に於ける海運業者を擧ぐれば次の如くである。

大連汽船株式會社

航路 (一) 大連基點青島、上海、天津、龍口、芝罘、安東等に定期配船(前章第一節参照)

(二) 大連日本、大連上海、大連南洋、石炭輸送

代理船主名 なし

大阪商船株式會社大連支店

第三章 海運業者

第三章 海運業者

航路 (一) 内地、歐米、臺灣、南支等に定期配船(前章第一節参照)

(二) 臨時配船は大連臺灣間を主とし大連内地間之に亞ぐ

代理船主名 日清汽船株式會社

日本郵船株式會社大連出張所

航路 歐米、北支に定期配船(前章第一節参照)

代理船主名 (一) 近海郵船株式會社

(二) 朝鮮郵船株式會社

阿波國共同汽船株式會社大連支店

航路 大連芝罘威海衛仁川、大連芝罘威海衛青島、大連鎮南浦天津等に定期配船(前章第一節参照)

代理船主名 共同汽船株式會社(二六共同丸)

田中商事株式會社大連支店

航路 (一) 大連門司字品尾の道大阪神戸間(廣島縣廳命令歐羅巴丸)

(二) 大連芝罘威海衛仁川間(利通號)

(三) 大連芝罘間(關東廳命令海壽丸)

(四) 其の他北支那沿岸、南支那、朝鮮、臺灣、日本間の特産輸送

代理船主名 (一) 神戸濱根商店(歐羅巴丸)

(二) 利通輪船有限公司(利通號)

(三) 高橋合資會社(海壽丸)

(四) 芝罘鹿玉軒記(北海號、海寧號)

(五) 田中汽船合資會社(英龍丸、平龍丸、福浦丸)

合資會社大三商會

航路 (一) 大連内地間(真日本九州)間特産輸送

(二) 島谷汽船の朝鮮北海道大連線定期航路(前章第一節参照)

代理船主名 島谷汽船株式會社

帝國汽船株式會社大連出張所

航路 大連内地間特産輸送

代理船主名 なし

三井物産株式會社大連支店

航路 (一) 大連内地間特産輸送

(二) 大連上海間石炭輸送

(三) 大連臺灣間特産輸送

代理船主名 Ellerman & Buchanall Steamship Co., Ltd.

第三章 海運業者

第三章 海運業者

八四

A. American & Manchurian Line.

B. Ellerman Line.

國際運輸株式會社大連支店

航路 大連内地間特産輸送

代理船主名 川崎汽船株式會社

山下汽船株式會社大連支店

航路 (一) 内地大連間石炭特産輸送

(二) 大連南洋間運炭

(三) 大連爪哇間石炭特産輸送

(四) 外に臨時船として渤海灣沿岸に航行することあるべし

代理船主名 なし

株式會社澤山兄弟商會大連出張所

航路 (一) 大連南洋(マニラ、シンガポール)間運炭

(二) 大連内地間石炭及特産運送

代理船主名 (一) 合資會社南洋鑛業公司

(二) 町田汽船株式會社

(三) 合資會社海通公司

(四) 合資會社草場船舶部

合資會社靖和商會

航路 (一) 大連内地間石炭輸送

(二) 大連内地間特産輸送

代理船主名 (一) 勝田汽船株式會社

(二) 岡崎汽船株式會社

(三) 太平洋運株式會社

(四) 乾汽船合名會社

合資會社後藤商會

航路 主として内地大連間の特産積取船を取扱ふ

代理船主名 (一) 南洋郵船株式會社

(二) 村尾汽船株式會社

(三) 國際汽船株式會社

(四) 川崎汽船株式會社

東和汽船株式會社大連支店

第三章 海運業者

八五

第三章 海運業者

航路 内地鮮滿間特産輸送

代理船主名 (一) 神戸東和汽船株式会社

(二) 戸田汽船株式会社

(三) 大通輪船有限公司

高橋商會

航路 大連八幡間石炭苦灰石輸送

代理船主名 商工省八幡製鐵所(惠山丸、汐首丸、吉林丸、廣南丸)

合資會社宮崎商會

航路 大連南支間貨物を主とし大連臺灣、大連内地(主に真日本)間の特産輸送

代理船主名 (一) 藤間汽船株式会社(大安丸、二大安丸)

(二) 太通公司(和順號、興順號)

(三) 毓太行(毓太號、毓濟號)

(四) 士美洋行(膠東號)

合資會社丸二商會

航路 大連威海衛青島海州間特産輸送

代理船主名 威運公司

堤商店

航路 大連内地間特産輸送

代理船主名 岸本汽船株式会社

大洋海運株式會社出張所

航路 (一) 大連内地間石炭特産輸送

(二) 大連マニラ間石炭輸送

代理船主名 なし

渤海商船公司

航路 青島大連

代理船主名 なし

栃木商事株式會社大連出張所

航路 大連内地間特産及石炭輸送

代理船主名 (主に社船)

正和洋行

航路 大連内地間

代理船主名 松岡汽船株式会社

第三章 海運業者

政記輪船股份公司(華商)

航路 (一) 大連南支間特產輸送

(二) 大連芝罘龍口安東間定期航路(前章第一節參照)

代理船主名 上海恒安公司(恒安號、華民號、大中號)

輪船招商分局

航路 支那沿岸

代理船主名 なし

肇興輪船股份分公司(華商)

航路 大連、上海間特產輸送を主とし大連、香港廣東間之に亞ぐ

代理船主名 天津北方航業公司(北泰號、北華號、北孚號)

旗昌洋行大連分行(英商)

航路 支那沿岸

代理船主名 なし

裕康輪船代理行(華商)

航路 大連厦門間特產輸送

代理船主名 上海中華公司

Butterfield & Swire. (英商) 太古洋

航路 (一) 大連歐洲特產輸送

(二) 大連支那沿岸特產輸送(香港、上海、牛莊)

代理船主名 (一) Alfred Holt & Co., Ltd, Liverpool.

a. Ocean Steamship Co., Ltd.

b. China Mutual Steam Navigation Co., Ltd.

(1) China Navigation Co., Ltd. (British)

(2) Cunard Steamship Co., Ltd. (U.S.A.)

Cornabe, Eckford & Winning. (英商) 和記洋行

航路 (一) 歐洲支那日本浦鹽間特產輸送

(二) 爪哇支那日本間特產輸送

(三) 米國日本支那間特產輸送

代理船主名 (一) Messageries Maritimes (French)

(1) Glen Line Ltd (British)

(2) Java China Japan Lije (Dutch)

(4) Lloyd Triestino Navigation Co. (Italian)

(五) Prince Line Ltd. (British)

(六) United States Steel Products Co. (U.S.A.)

C. Illies & Co. (獨商) 以利斯商會

航路 (一) 大連支那沿岸歐洲間特産輸送

(二) 大連米國日本支那沿岸特産輸送

代理船主名 (一) Hamburg Amerika Linie. (German)

(二) Columbia Pacific Shipping Co. (U.S.A.)

O. H. Anz & Co. (獨商) 盎斯洋行

航路 大連日本歐洲間船客特産輸送

代理船主名 Norddeutscher Lloyd Bremen.

J. W. Carllidge & Co. (英商) 嘉利洋行

航路 (一) 米國日本支那間特産輸送

(二) 米國支那歐洲間特産輸送

代理船主名 (一) The Admiral Oriental Line (U.S.A.)

(二) Andrew Weir & Co., London. (The Fank Line.)

(三) James Chambers & Co., Liverpool. (The Lancashire shipping Co.)

C. Holstein & Co. (獨商) 和利洋行

航路 歐洲大連間特産輸送

代理船主名 Rickmers Reederie, A.G. (German)

Agency of the East Asiatic Co., Ltd., Copenhagen (卜商) 寶隆洋行

航路 歐洲大連間特産輸送

代理船主名 なし

J. Bearbrayer (露商) 比來洋行

航路 不定

代理船主名 ソビエツト聯邦共和國商船隊

大連港の海運界は以上に列記せる諸社によつて形成されてゐるが、その各々の業態を一様に看做し得ないことは前述せる如くであつて、寧ろ多數を占むる代理取扱業者に就てはその背後にある船主(又は代理委託者)を眞のオペレーターとして觀察する要がある。いま前述の如き海運業特有の業態類別に従つて當港海運市場の構成状態を窺へば次の如くである。

一、定期船經營者

大連汽船株式會社(本店)

大阪商船株式會社(支店)

第三章 海運業者

第三章 海運業者

九二

- 日清汽船株式會社(代理委任)
- 日本郵船株式會社(出張所)
- 近海郵船株式會社(代理委任)
- 朝鮮郵船株式會社(同)
- 阿波國共同汽船株式會社(支店)
- 株式會社濱根商店(代理委任)
- 高橋合資會社(代理委任)
- 島谷汽船株式會社(代理委任)
- 政記輪船股份公司(本店)
- 利通輪船有限公司(代理委任)
- 芝罘鹿王軒記(代理委任)
- Alfred Holt & Co., Ltd., Liverpool. (代理委任、以下外商皆同じ)
- Messageries Maritimes.
- Glen Line Ltd.
- Java-China-Japan Lijn.
- Prince Line Ltd.

(以上邦商)
(以上華商)

- United State Steel Products Co.
- Hamburg-Amerika Linie (Hamburg-Amerikanische Packetfahrt A. G.)
- Columbia Pacific Shipping Co.
- Norddeutsche Lloyd Bremen.
- The Admiral Oriental Line.
- Andrew Weir & Co. London.
- James Chambers & Co.
- Rickmers Reederie, A.G.
- The East Asiatic Co., Ltd.
- Ellerman & Bucknall Steamship Co. Ltd.

二、不定期船經營者

- 三井物産株式會社(支店)
- 山下汽船株式會社(同)
- 東和汽船株式會社(同)
- 帝國汽船株式會社(出張所)
- 澤山兄弟商會(同)

第三章 海運業者

九三

第三章 海運業者

- 太平洋海運株式會社(出張所)
- 栃木商事株式會社(同)
- 勝田汽船株式會社(代理委任)
- 岡崎汽船株式會社(同)
- 南洋郵船株式會社(同)
- 村尾汽船株式會社(同)
- 國際汽船株式會社(同)
- 川崎汽船株式會社(同)
- 乾汽船合名會社(同)
- 戸田汽船株式會社(同)
- 藤間汽船株式會社(同)
- 岸本汽船株式會社(同)
- 町田汽船株式會社(同)
- 松岡汽船株式會社(同)
- 南洋鑛業公司(同)
- 合資會社海通公司(同)

- 草場船船部(同)
- 渤海商船公司(本店)
- 輪船招商總局(分局)
- 肇興輪船股份公司(支店)
- 上海恒安公司(代理委任)
- 天津北方航業公司(同)
- 上海中華公司(同)
- 裕康輪船公司(同)
- 旗昌洋行(支店)
- 太古洋行(同)

此の外歐米汽船會社は主としてその極東定期航路の寄港地として來航するものなればその大部分は定期船と稱し得べく、トランパーを主とするものはない様である。尙茲に不定期船經營者として擧げたものの中には定期船經營者を省いたが、定期船經營者と雖、時に應じ利に依て臨時不定期の配船をなすは勿論である。又ひとしく不定期船經營者として列記せるも、委任經營者中には所謂貨船主義により船舶の運用には全然與らざるものあるべく、荷扱店風の代理經營者に却つてオペレーターとして認むべきものもないではないが、何れにするも海運界に於けるその地位は特記すべき程度のものではない。

此の外大連には單に輸入船の置籍を目的とする所謂置籍船會社なるものがあり、その所屬船の運用は悉く母姉會社に委ねられてゐる。故に海運市場に於ける働きの上から云へば空名を擁するに過ぎないが、内地船主との關係を見る参考までに左にその概要を示さう（括弧内は母姉會社）

- 遼東汽船株式會社（三井物産株式會社船舶部、神戸）
- 山下汽船合資會社（山下汽船株式會社、神戸）
- 大連東和汽船株式會社（東和汽船株式會社、神戸）
- 龍王汽船株式會社（橋本汽船株式會社、西ノ宮）
- 大正海運株式會社（明治海運株式會社、神戸）
- 北支那汽船株式會社（三上株式會社、神戸）
- 合資會社辰馬商會（辰馬汽船株式會社、西ノ宮）
- 沙河汽船株式會社（橋本汽船合名會社、）
- 村尾汽船合資會社（村尾汽船合資會社、神戸）
- 日出汽船株式會社（大洋海運株式會社、神戸）
- 大華汽船株式會社（同）
- 日滿汽船株式會社（神戸商船株式會社、神戸）
- 合資會社三陽社（合資會社、三陽社、東京）
- 町田汽船株式會社（株式會社、町田商會、神戸）

- 田中汽船合資會社（田中商事株式會社、大阪）
- 吾妻汽船合資會社（吾妻汽船株式會社、神戸）
- 株式會社岸本商會（岸本汽船株式會社、大阪）
- 戸田汽船株式會社（株式會社戸田商店、神戸）
- 東海汽船株式會社（日神海運商會、神戸）
- 關東汽船合資會社（乾合名會社、神戸）
- 乾合名會社（同）
- 佐藤國汽船株式會社（株式會社、佐藤國商店、神戸）
- 眞盛汽船合資會社（原商事株式會社、大阪）
- 上野汽船合資會社（上野汽船合資會社、大阪）
- 山本海運株式會社（山本商事株式會社、大阪）
- 黒姫汽船合資會社（板谷商船株式會社、小樽）
- 矢吹合名會社（合名會社、矢吹船舶部、大阪）

次に附録する扱店別船舶及貨物噸數の統計資料は僅々一箇年餘の數字にして（昭和二年四月以前は本統計資料の作製なし）未だ統計的研究の材料として充分でないが、原資料の形式を少しく變へて、こゝに採録する所以のものは此の短期間の數字にして尙前述の各海運業者業態の一面を窺ふ好參資料なりと思惟するが故である。即ち取扱船腹數の觀察は云ふ迄もなく、揚荷（輸入噸數）と積荷（輸出噸數）の比例、積荷の石炭と其の他貨物（主として特産物と見るこ

とが出来る)の比較を扱店別に比較観察するときは大連港に於ける各海運業者の地位並びに業態を稍々明瞭に看取し得るべし。茲はこの種統計資料の充實を切望するものである。

扱店別船舶及貨物噸數

(滿鐵鐵道部庶務課統計係調)

大 阪 商 船

年 月	隻 數	輸 入 噸 數	輸 出 噸 數	石		炭 料		合 計
				輸 出	炭 料			
昭和 2. 4	42	23,556	62,530	4,329	13,448	103,863		
5	51	22,608	71,746	13,734	4,178	112,266		
6	44	27,413	83,792	7,327	10,715	129,247		
7	45	19,945	62,753	3,260	13,068	99,026		
8	46	22,525	42,142	15,319	12,834	92,720		
9	36	28,582	41,027	14,349	14,467	98,425		
10	39	27,482	42,954	—	12,710	83,146		
11	41	27,762	40,276	—	12,450	80,488		
12	37	35,004	44,097	490	16,980	96,571		
3. 1	36	19,355	65,379	210	13,486	98,430		
2	28	22,373	41,644	222	10,394	74,633		
3	36	28,407	58,337	222	11,819	98,785		
4	32	23,764	65,384	133	9,908	99,189		
5	39	25,219	54,375	111	13,394	93,099		
6	32	27,402	48,825	4,222	8,967	89,416		
7	29	18,879	31,517	1,678	9,210	61,284		
8	31	24,127	27,162	678	10,706	62,673		

日 本 郵 船

年 月	隻 數	輸 入 噸 數	輸 出 噸 數	石		炭 料		合 計
				輸 出	炭 料			
昭和 2. 4	22	7,557	11,937	—	4,333	23,827		
5	28	8,993	36,287	—	7,300	52,580		
6	25	9,830	12,583	—	7,347	29,760		
7	26	7,396	16,463	—	6,929	30,786		
8	25	9,385	17,980	9,250	6,950	43,565		
9	22	8,614	17,551	—	5,405	31,570		
10	20	9,664	6,541	120	3,857	20,162		
11	22	7,208	12,573	—	4,125	23,906		
12	26	7,942	13,551	—	10,295	31,688		
3. 1	21	5,523	15,689	—	6,271	27,483		
2	22	4,043	18,907	—	6,751	29,701		
3	25	11,991	36,363	—	10,434	58,788		
4	26	6,395	30,219	6,000	7,672	50,286		
5	28	12,942	34,266	4,461	10,947	62,616		
6	27	14,086	32,296	4,772	8,739	59,893		
7	24	7,738	21,680	—	7,172	36,590		
8	26	9,501	14,726	6,611	10,370	41,208		

大連汽船

100

年	月	隻數	輸入噸數	輸出噸數	石		炭		合計	
					輸	出	輸	出		
昭和2.	4	77	14,333	28,909	69,605	9,796	122,543		122,543	
	5	84	16,350	51,491	73,433	9,893	151,167		151,167	
	6	74	13,186	37,105	63,827	9,270	123,388		123,388	
	7	75	13,801	34,656	62,704	9,849	121,010		121,010	
	8	69	17,469	18,884	60,774	8,026	105,153		105,153	
	9	75	22,324	24,663	66,330	9,590	123,007		123,007	
	10	66	22,288	17,636	57,830	9,785	107,538		107,538	
	11	69	19,125	19,875	72,628	11,324	122,952		122,952	
	12	71	21,273	43,706	60,853	13,682	139,514		139,514	
	3.	1	60	18,927	72,772	35,095	10,774	137,568		137,568
		2	67	17,185	70,216	68,688	12,844	168,933		168,933
		3	73	15,845	50,238	80,926	12,967	159,976		159,976
4		77	15,836	49,704	108,146	12,167	185,853		185,853	
5		69	14,918	39,982	86,086	12,322	153,308		153,308	
6		71	11,908	24,728	96,190	11,223	144,049		144,049	
7		65	16,386	17,553	74,688	10,636	119,263		119,263	
8		67	13,906	13,204	54,161	11,658	92,929		92,929	

山下汽船

年	月	隻數	輸入噸數	輸出噸數	石		炭		合計	
					輸	出	輸	出		
昭和2.	4	12	—	35,584	25,183	3,687	64,454		64,454	
	5	7	5,177	4,570	28,411	2,240	40,308		40,308	
	6	9	—	4,792	36,605	1,534	42,931		42,931	
	7	7	—	3,045	28,763	2,565	34,373		34,373	
	8	9	2,960	—	35,394	2,480	40,834		40,834	
	9	11	11	—	8,067	48,176	3,027	59,270		59,270
	10	10	10	—	4,848	49,810	2,140	56,798		56,798
	11	10	10	—	6,483	45,118	2,335	53,936		53,936
	12	9	9	—	—	37,848	2,114	39,962		39,962
	3.	1	13	—	—	66,903	3,010	69,913		69,913
		2	10	173	5,003	42,232	1,989	49,397		49,397
		3	10	—	12,438	38,561	2,138	53,137		53,137
4		7	490	1,692	17,896	986	21,064		21,064	
5		9	—	8,892	39,569	2,011	50,472		50,472	
6		10	—	—	13,163	2,706	55,449		55,449	
7		10	—	—	—	26,306	789	27,095		27,095
8		12	—	1,169	15	53,006	1,533	55,723		55,723

三井物産

1011

年	月	隻數	輸入噸數	輸出噸數	石		炭		合計						
					輸	出	炭	料							
昭和	2.	4	11	7,671	33,589	6,579	2,847	50,686							
	4								5	1,015	23,729	650	25,394		
	5								5	3,622	28,963	—	1,240	33,825	
	6								6	2,568	7,741	8,185	325	18,819	
	7								2	953	441	5,465	—	6,859	
	8								6	2,033	8,881	4,511	820	16,245	
	9								3	1,788	10,911	—	100	12,799	
	10								6	2,086	156	13,730	1,120	17,092	
	11								5	3,678	—	10,615	1,840	16,133	
	12								3	462	3,523	—	270	4,255	
	3.								1	2	—	20,836	12,110	1,348	34,294
	2								9	2,834	42,608	22,522	3,649	71,698	
3	15	4,805	69,436	8,397	4,456	87,094									
4	15	843	51,818	7,350	3,133	63,144									
5	12	437	7,694	14,467	1,567	24,165									
6	9	5,910	79	21,222	1,344	28,555									
7	8	232	7,799	20,422	1,022	29,475									
8	4														

三井物産

1011

年	月	隻數	輸入噸數	輸出噸數	石		炭		合計					
					輸	出	炭	料						
昭和	2.	4	9	2,861	6,674	11,289	300	21,124						
	4								10	285	9,888	666	17,794	
	5								8	180	4,965	16,050	1,130	22,325
	6								4	2,793	3,381	4,290	550	11,014
	7								3	1	3,381	3,950	810	8,142
	8								6	839	2	15,155	940	16,927
	9								3	440	38	9,270	820	10,568
	10								2	155	2,254	—	—	2,409
	11								5	3,357	4,997	—	—	8,354
	12								6	1,529	15,088	7,654	1,376	25,627
	3.								1	1,071	6,374	—	56	7,501
	2								4	112	12,622	3,354	488	16,576
3	5	3,637	20,381	4,417	823	29,258								
4	7	4,319	10,197	9,022	456	23,994								
5	6	8,583	7,935	7,355	2,687	26,560								
6	5	128	6,116	6,167	389	12,900								
7	7	408	20,839	7,267	1,889	30,403								
8	7													

阿波共同

10回

年	月	隻数	輸入噸數	輸出噸數	石		炭		合計
					輸	出	炭	料	
2.	4	11	1,367	8,209	3,685	945	14,206		
	5	14	2,364	13,948	2,965	1,070	20,347		
	6	14	1,996	11,710	1,900	1,040	16,646		
	7	17	1,801	5,210	1,850	1,015	9,876		
	8	19	1,344	9,437	2,140	925	13,846		
	9	15	2,063	2,878	2,770	960	8,671		
	10	17	2,498	2,461	3,247	960	9,166		
	11	14	2,610	2,335	5,712	980	11,637		
	12	15	2,201	5,384	4,279	1,108	12,972		
	3.	1	14	1,936	3,092	3,733	901	9,662	
		2	12	2,218	6,878	3,121	993	13,210	
		3	16	2,990	8,925	2,820	1,229	15,964	
4		15	2,674	11,021	3,840	1,378	18,913		
5		17	3,332	6,387	1,608	1,389	12,716		
6		22	2,937	10,431	3,856	1,578	18,802		
7	21	1,839	3,321	1,922	1,489	8,571			
8	22	1,955	2,547	2,100	1,377	7,979			

田中商事

年	月	隻数	輸入噸數	輸出噸數	石		炭		合計
					輸	出	炭	料	
昭和	4	25	3,025	14,066	7,696	981	25,768		
	5	24	3,570	9,569	1,730	992	15,861		
	6	20	4,010	7,711	1,720	540	13,981		
	7	21	2,737	8,119	9,027	380	20,363		
	8	23	2,584	3,347	4,620	510	11,061		
	9	21	3,039	3,195	15,373	820	22,427		
	10	24	2,632	2,276	6,550	857	12,315		
	11	31	3,284	4,579	15,436	1,054	24,343		
	12	34	1,145	7,292	2,105	1,056	11,598		
	3.	1	25	2,411	9,887	3,534	1,060	16,902	
		2	39	2,569	9,781	5,341	1,427	19,118	
		3	47	3,358	14,603	6,099	1,908	25,968	
4		26	4,076	12,011	4,247	977	21,311		
5		42	1,291	14,738	4,544	1,609	22,182		
6		30	3,022	11,056	5,522	1,317	20,917		
7		30	3,767	4,961	15,572	1,456	25,756		
8		28	799	1,357	6,322	1,122	9,600		

第三卷 第三頁

10回

榮川會 榮照會 榮和會

10K

年	月	隻數	輸入噸數	輸出噸數	石		炭料	合計
					輸	出		
昭和	2.	4	—	11,967	48,125	3,088	63,180	
		5	—	19,784	41,013	2,320	62,117	
		6	1,333	136	28,880	1,275	31,624	
	3.	7	—	1,596	19,373	990	21,959	
		8	—	—	10,294	755	11,049	
		9	—	—	25,249	1,730	26,989	
	10	10	—	—	4,508	29,605	1,510	35,623
		11	—	—	5,713	26,913	3,143	35,769
		12	8	8,159	8,159	35,696	2,100	45,963
	3.	1	7	388	5,224	18,090	1,211	24,913
		2	10	521	16,590	23,643	2,317	43,071
		3	13	211	11,819	21,012	1,900	34,942
4		6	—	—	16,547	1,566	18,113	
5		5	—	—	5,701	667	6,368	
6		3	—	—	—	522	6,948	
7		4	446	6,426	—	572	6,998	
8		—	—	—	5,690	—	—	

大三商會

年	月	隻數	輸入噸數	輸出噸數	石		炭料	合計
					輸	出		
昭和	2.	4	660	18,514	6,043	1,431	26,648	
		5	2,222	12,012	5,000	760	19,994	
		6	517	3,337	1,440	420	5,714	
	3.	7	2,219	1,086	1,700	610	5,615	
		8	207	4,732	1,860	420	7,219	
		9	1,792	941	1,391	390	4,514	
	10	10	3,604	1,759	7,165	910	13,438	
		11	6,563	767	13,745	1,267	22,342	
		12	3,819	4,199	19,137	2,332	29,487	
	3.	1	2,192	9,842	6,105	1,733	19,872	
		2	765	17,802	17,400	2,694	38,661	
		3	2,224	11,387	9,978	2,386	25,975	
4		1,147	15,030	13,972	1,718	31,867		
5		2,908	17,722	13,699	1,991	36,320		
6		534	8,067	13,049	1,044	22,694		
7		1,396	1,885	13,778	1,022	18,081		
8		1,040	1,648	21,448	1,700	25,836		

104

第三章 船隻運業

108

澤山汽船

年	月	隻數	輸入噸數	輸出噸數	石		炭		合計
					輸	出	炭	料	
昭和	2.	4	5	2,307	4,928	17,660	817	25,712	
	5	7	7	—	5,025	30,298	1,530	36,853	
	6	4	4	4,611	3,318	9,164	490	17,583	
	7	—	—	—	—	—	—	—	
	8	7	7	2,592	—	20,805	740	24,137	
	9	8	8	4,264	2,789	7,773	770	15,596	
	10	12	12	5,756	3,745	25,230	1,410	36,141	
	11	7	7	1,502	4,215	10,209	550	16,476	
	12	3	3	7	833	8,028	660	9,528	
	3.	1	4	790	1,717	7,223	590	10,320	
		2	9	924	5,041	23,310	2,674	31,949	
		3	10	3,462	8,361	15,644	2,332	29,789	
4		14	1,120	7,356	27,337	2,762	38,575		
5		13	3,275	3,669	23,749	1,993	32,686		
6		5	3,516	—	22,397	2,309	28,122		
7		5	923	—	19,451	1,406	21,780		
8		7	2,727	879	19,322	1,211	24,139		

東和汽船

年	月	隻數	輸入噸數	輸出噸數	石		炭		合計
					輸	出	炭	料	
昭和	2.	4	3	—	7,616	—	480	8,096	
	5	7	7	—	21,972	4,670	1,090	27,732	
	6	4	4	—	12,316	6,815	60	19,191	
	7	—	—	—	—	—	—	—	
	8	—	—	—	—	—	—	—	
	9	4	4	5	—	4,080	420	4,505	
	10	—	—	—	—	—	—	—	
	11	—	—	—	—	—	—	—	
	12	4	4	—	533	—	160	693	
	3.	1	—	—	—	—	—	—	—
		2	12	12	—	16,018	—	550	16,568
		3	28	28	—	27,426	4,057	1,821	33,304
4		3	3	—	19,074	—	417	19,491	
5		5	5	—	18,354	7,722	797	26,873	
6		6	6	—	16,211	6,161	644	23,016	
7		5	5	—	5,043	—	500	5,543	
8		—	—	—	—	—	—	—	

年 月	隻 數	輸 入 噸 數	輸 出 噸 數	石		炭 料	合 計
				輸 出	炭 料		
昭和 2. 4	18	2,572	6,484	4,559	315	13,930	
5	20	3,063	24,396	1,260	1,100	29,819	
6	16	1,722	5,862	1,250	375	9,205	
7	11	1,491	5,122	1,855	325	8,798	
8	5	—	1,019	—	340	1,359	
9	3	—	1,852	—	60	1,912	
10	5	—	1,230	2,028	305	3,568	
11	4	737	1,860	—	220	2,817	
12	8	84	1,965	—	440	2,489	
3. 1	5	31	71	—	60	162	
2	8	70	480	—	100	650	
3	12	773	4,178	1,402	393	6,746	
4	7	1	3,746	—	211	3,958	
5	6	—	2,084	100	106	2,290	
6	—	—	—	—	—	—	
7	—	—	—	—	—	—	
8	—	—	—	—	—	—	

後 藤 商 會

年 月	隻 數	輸 入 噸 數	輸 出 噸 數	石		炭 料	合 計
				輸 出	炭 料		
昭和 2. 4	3	—	13,481	—	—	13,481	
5	10	1,080	38,962	5,380	190	45,612	
6	7	—	27,236	12,412	220	39,868	
7	3	—	14,713	—	120	14,833	
8	—	—	—	—	—	—	
9	5	3,045	—	—	—	3,185	
10	4	—	18,083	—	720	18,803	
11	—	—	—	—	—	—	
12	8	4,078	15,149	3,995	470	23,692	
3. 1	4	—	23,251	—	180	23,431	
2	3	—	11,581	—	111	11,692	
3	6	228	33,868	—	111	34,207	
4	5	1,261	20,706	—	—	21,967	
5	9	9,764	12,155	4,969	289	27,177	
6	3	6,063	6,317	—	111	12,491	
7	5	4,564	2,697	—	—	7,261	
8	6	10,122	8,548	1,944	500	21,114	

第三卷 雜項業 年

1111

帝國汽船

年	月	隻數	輸入噸數	輸出噸數	石		炭料	合計
					輸	出		
昭和	2.	4	6	2,006	3,218	15,533	910	21,667
	5	4	4	—	2,570	1,521	500	4,591
	6	4	—	—	13,265	9,700	950	23,915
	7	—	—	—	—	—	—	—
	8	8	1,762	791	5,638	1,620	575	9,811
	9	5	1,405	3,000	—	—	—	4,980
	10	7	—	—	12,685	2,905	1,500	14,185
	11	5	2,546	3,750	2,905	920	605	10,121
	12	7	3,195	2,055	—	—	—	5,855
	3.	1	—	—	—	—	—	—
	2	6	1,386	7,853	11,476	1,708	947	22,423
	3	7	736	1,861	7,430	2,996	344	10,974
4	2	—	3,308	—	—	—	6,648	
5	—	—	—	—	—	—	—	
6	—	—	—	—	—	—	—	
7	—	—	—	—	—	—	—	
8	—	—	—	—	—	—	—	

堤商會

年	月	隻數	輸入噸數	輸出噸數	石		炭料	合計
					輸	出		
昭和	2.	4	2	2,777	4,475	57	7,309	
	5	—	—	—	—	—	—	
	6	—	—	—	—	—	—	
	7	—	—	—	—	—	—	
	8	—	—	—	—	—	—	
	9	—	—	—	—	—	—	
	10	—	—	—	—	—	—	
	11	5	4,480	9,795	550	14,825		
	12	4	14,789	710	15,499			
	3.	1	—	—	—	—	—	
	2	4	13,622	3,592	510	17,724		
	3	3	7,130	3,021	—	10,151		
4	6	6,057	3,378	178	11,174			
5	2	11,026	—	—	11,026			
6	2	7,118	—	111	7,329			
7	2	14,068	2,037	567	16,672			
8	—	—	—	—	—	—		

1111

丸二商會

年	月	隻數	輸入噸數	輸出噸數	石		合計
					出	炭料	
昭和2.	4	11	1,746	1,546	—	355	3,647
	5	3	—	1,376	—	125	1,501
	6	—	—	—	—	—	—
	7	4	—	518	—	260	778
	8	8	103	1,732	—	275	2,110
	9	11	19	1,354	—	355	1,728
	10	6	66	306	—	325	697
	11	5	109	192	600	225	1,126
	12	5	1	621	520	205	1,347
	3.	1	4	360	670	244	1,274
		2	5	3	1,088	178	1,269
		3	6	358	1,658	222	2,238
4	8	55	3,073	—	422	3,550	
5	7	28	1,363	5,333	478	7,202	
6	8	227	2,393	10,450	817	13,887	
7	8	73	874	10,011	839	11,797	
8	7	108	647	9,833	711	11,299	

高橋商會

年	月	隻數	輸入噸數	輸出噸數	石		合計	
					出	炭料		
昭和2.	4	5	52	1,779	11,423	—	13,254	
	5	—	—	—	—	—	—	
	6	4	—	—	13,615	—	13,615	
	7	2	1,216	—	8,600	—	9,816	
	8	—	—	—	—	—	—	
	9	—	—	—	—	—	—	
	10	4	5	6,124	6,505	—	12,634	
	11	4	70	2,381	5,930	—	8,371	
	12	4	55	6,481	10,230	—	16,766	
	3.	1	6	19	4,762	15,000	—	19,761
		2	6	—	4,134	13,169	—	17,303
		3	6	—	8,368	12,778	—	21,046
4		6	113	1,753	17,107	408	19,381	
5		2	—	—	5,778	—	5,778	
6		—	—	—	—	—	—	
7		3	70	—	9,556	—	9,536	
8		—	—	—	—	—	—	

年	月	隻	数	輸	入	噸	数	石		炭	合
								輸	出		
昭和2.	4	47	48	1,699	16,124	3,472	3,350	24,645			
	5	48	799	15,149	3,723	3,655	23,328				
	6	46	957	19,385	2,985	3,645	26,972				
	7	55	4,880	49,290	2,880	4,870	61,920				
	8	47	1,525	17,876	1,850	4,690	25,871				
	9	39	4,824	6,028	4,520	1,695	17,067				
	10	57	3,248	6,494	4,245	4,422	18,409				
	11	57	6,018	7,027	7,270	4,573	24,888				
	12	54	3,709	9,366	6,427	4,864	24,366				
	3.	1	48	2,471	8,623	5,277	4,555	20,926			
		2	72	601	16,518	3,228	7,899	28,346			
		3	85	1,602	24,890	7,384	5,770	30,636			
4		58	733	19,918	3,136	3,942	27,729				
5		55	3,849	13,669	5,106	4,706	27,330				
6		45	5,081	22,276	5,011	3,620	35,988				
7		48	4,506	17,257	3,206	3,789	28,758				
8		50	5,317	6,294	2,789	4,156	18,556				

年	月	隻	数	輸	入	噸	数	石		炭	合
								輸	出		
昭和2.	4	5	10	199	7,101	—	687	7,987			
	5	10	1,113	8,841	—	1,150	11,104				
	6	10	—	14,896	—	1,500	16,396				
	7	16	2,157	33,838	—	2,035	38,080				
	8	3	—	4,045	—	490	4,535				
	9	4	4	2,538	—	380	2,922				
	10	5	—	1,341	—	670	2,011				
	11	8	—	4,191	—	1,281	5,472				
	12	12	386	4,522	—	1,356	6,264				
	3.	1	10	—	2,496	3,848	967	7,311			
		2	25	26	11,248	9,171	1,812	22,287			
		3	35	694	26,250	4,976	3,520	35,440			
4		6	371	5,014	—	922	6,337				
5		13	212	12,460	—	1,028	13,700				
6		10	—	13,179	—	1,067	14,246				
7		9	—	9,138	—	1,356	10,494				
8		3	66	1,479	—	200	1,745				

太古洋行

年	月	隻	數	輸入噸數	輸出噸數	石		炭		合計		
						輸	出	炭	料			
昭和	2.	4	13	2,400	18,711	—	—	1,120	—	22,231		
		5	26	4,378	26,131	—	—	6,000	—	36,509		
		6	28	2,328	39,962	—	—	1,310	—	43,600		
		7	8	1,401	14,297	—	—	1,800	—	17,498		
		8	14	3,417	19,334	—	—	2,900	—	25,651		
		9	8	2,981	3,108	—	—	970	—	7,059		
		10	9	3,856	941	—	—	110	—	4,907		
		11	13	8,803	10,019	—	—	1,247	—	20,069		
		12	16	6,603	9,875	—	—	1,317	—	17,795		
		3.	1	15	5,813	16,189	—	—	5,180	—	27,182	
				2	17	7,786	22,969	—	—	1,763	—	32,518
				3	18	2,333	26,676	—	—	2,469	—	31,478
4	13			4,426	12,588	—	—	2,520	—	19,534		
5	10			4,446	8,541	—	—	1,561	—	14,548		
6	17			5,569	26,978	—	—	1,456	—	34,033		
7	14			4,764	21,091	—	—	4,433	—	30,288		
8	17			6,307	29,538	—	—	6,056	—	41,901		

和記洋行

年	月	隻	數	輸入噸數	輸出噸數	石		炭		合計		
						輸	出	炭	料			
昭和	2.	4	8	2,397	10,589	—	—	150	—	13,036		
		5	9	901	10,096	—	—	150	—	11,147		
		6	7	2,490	23,129	—	—	—	—	25,619		
		7	15	10,303	22,304	—	—	587	—	33,194		
		8	11	7,055	16,065	—	—	59	—	23,170		
		9	10	2,189	20,211	—	—	—	—	22,400		
		10	8	3,101	22,121	—	—	80	—	25,302		
		11	9	3,818	19,730	—	—	—	—	23,548		
		12	11	4,032	31,190	—	—	—	—	35,222		
		3.	1	5	5	566	13,824	—	—	—	—	14,390
				2	15	6,373	35,577	—	—	156	—	42,106
				3	15	6,060	47,341	—	—	167	—	53,568
4	12			2,199	27,234	—	—	422	—	29,855		
5	15			13,216	23,756	—	—	167	—	37,139		
6	11			3,958	25,235	—	—	1,656	—	30,849		
7	10			4,072	42,661	—	—	1,500	—	48,233		
8	7			12,355	14,986	—	—	1,667	—	28,956		

城川特産炭業組合

1110

トンス商會

年	月	隻	輸入噸數	輸出噸數	石		炭料	合計	
					輸	出			
昭和2.	4	3	431	3,699	—	—	—	4,130	
	5	4	2,063	5,623	3,000	—	—	10,686	
	6	2	1,688	7,482	1,250	—	—	10,420	
	7	2	1,474	10,976	—	—	—	12,450	
	8	4	2,361	13,871	—	—	—	16,232	
	9	4	1,306	15,192	—	—	—	16,498	
	10	4	1,925	11,485	—	—	—	13,410	
	11	2	750	482	—	—	—	1,232	
	12	3	1,097	437	—	—	—	1,534	
	3.	1	—	—	—	—	—	—	—
		2	2	341	1,460	—	—	—	1,801
		3	5	1,243	16,934	—	—	111	18,286
4		5	1,053	8,233	—	—	183	9,469	
5		5	1,605	15,101	—	—	—	16,706	
6	2	540	8,263	—	—	—	8,803		
7	4	579	12,302	—	—	—	12,881		
8	3	1,187	14,655	—	—	—	15,842		

シ、イ、ー、リス商會

年	月	隻	輸入噸數	輸出噸數	石		炭料	合計	
					輸	出			
昭和2.	4	7	2,939	11,504	500	—	—	14,943	
	5	3	2,652	6,780	1,000	—	—	10,432	
	6	6	1,600	14,449	—	—	—	16,049	
	7	7	3,547	13,525	1,000	—	—	18,072	
	8	5	1,695	10,634	—	—	—	12,329	
	9	6	2,650	12,760	—	—	—	15,410	
	10	6	3,849	10,633	—	—	—	14,482	
	11	3	571	1,118	—	—	—	1,689	
	12	5	2,830	8,982	—	—	—	11,812	
	3.	1	5	894	6,777	—	—	—	7,671
		2	2	250	5,169	—	—	—	5,419
		3	4	1,067	14,022	—	—	—	15,089
4		4	2,970	11,832	—	—	—	14,802	
5		9	1,756	27,787	556	—	211	30,310	
6		9	2,980	15,491	—	—	—	18,441	
7		8	3,374	13,930	—	—	—	17,304	
8		7	5,720	11,829	—	—	—	17,549	

徳川會 炭 照 炭 會

1111

ホルスタイン商會

年 月	隻 數	輸 入 噸 數	輸 出 噸 數	石		合 計
				輸 出	炭 料	
昭和 2. 4	2	969	3,602	1,300	—	5,931
5	—	—	—	—	—	—
6	2	1,168	425	1,900	—	3,493
7	2	687	3,639	—	60	4,386
8	5	808	8,759	—	—	9,567
9	—	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—	—
11	—	—	—	—	—	—
12	—	—	—	—	—	—
3. 1	—	—	—	—	—	—
2	—	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—	—
4	3	6,247	7,611	—	—	13,858
5	2	2,446	5,060	—	—	7,506
6	—	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—	—
8	3	3,847	10,705	—	—	14,552

カートリツチ商會

年 月	隻 數	輸 入 噸 數	輸 出 噸 數	石		合 計
				輸 出	炭 料	
昭和 2. 4	—	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—	—
6	2	4,792	609	—	—	5,401
7	5	3,560	1,718	6,800	—	12,078
8	3	145	429	5,715	—	6,289
9	—	—	—	—	—	—
10	2	7,084	1,024	—	23	8,131
11	3	537	1,580	—	—	2,117
12	—	—	—	—	—	—
3. 1	2	5,294	409	—	120	5,823
2	—	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—	—
4	5	6,148	10,006	—	350	16,504
5	3	—	1,927	6,389	—	8,316
6	—	—	—	—	—	—
7	4	9,089	1,313	—	—	10,402
8	—	—	—	—	—	—

徳川會 炭 照 炭 會

1111

年 月	隻 数	輸 入 噸 数	輸 出 噸 数	石		炭 料		合 計
				輸 出	炭 料			
昭和2. 4	24	4,362	5,739	—	3,240	13,341		
5	14	—	2,296	520	440	3,256		
6	3	2,207	6,279	—	230	8,716		
7	7	8,867	8,742	11,710	725	30,014		
8	7	3,354	25,292	9,132	300	38,068		
9	10	4,166	30,228	11,300	34	45,728		
10	8	4,870	279	6,775	1,760	13,684		
11	7	2,374	4,671	440	805	8,390		
12	12	7,028	12,036	—	2,400	21,464		
3. 1	25	5,350	22,095	13,729	1,777	42,951		
2	18	4,478	13,312	7,258	1,163	26,211		
3	18	5,503	20,451	14,046	2,413	42,413		
4	12	5,989	20,206	16,534	1,045	43,774		
5	12	1,381	18,667	14,090	1,350	35,388		
6	23	4,014	5,904	23,700	1,696	35,434		
7	12	2,447	26,211	9,044	628	38,330		
8	23	1,955	15,755	12,458	1,156	31,324		

招 商 局

年 月	隻 数	輸 入 噸 数	輸 出 噸 数	石		炭 料		合 計
				輸 出	炭 料			
昭和3. 6	4	889	5,558	—	556	7,003		
7	5	294	5,213	—	589	6,096		
8	3	—	967	—	222	1,189		

備考 昭和三年六月より分局開設、それ以前は政記公司に於て取扱ふ

第二節 營口港の海運業者

營口の海運界は華商、英商、日商三者鼎立し、其の活動範圍は支那沿岸線を主とし、その他は邦船により日本内地との通航行はるゝのみである。左に主要なる經營者を擧ぐれば次の如くである。(一九二八年六月現在)

商 號 毓 太 行 (華商)
 資 本 金 約六十萬圓
 設 立 年 月 民國十一年四月
 營 業 上海、汕頭、泉州、天津等に至る航路を自營す
 船 隻 毓太(一、二二八噸)、毓濟(一、〇〇〇噸)を所有し、一箇月配船數約三隻三千噸位

商號 肇興輪船股份有限公司 (華商)

資本金 大洋二百萬元

設立年月 宣統二年

營業 天津、大連、龍口、上海、汕頭、興化等に至る航路を自營す

船業 裕興(九七一噸)、肇興(七六七噸)、和興(一、三〇三噸)、同安(七〇〇噸)、榮興(五〇二噸)、

連興(九六九噸)、同源(二八一噸)等を所有し一箇月の配船數平均約二十隻一萬四千噸位

商號 海昌輪船公司 (華商)

資本金 大洋二十五萬元

設立年月 民國十七年四月

營業 大連、上海、龍口、天津等に至る航路を自營す

船業 海順(一、〇〇五噸)、海昌(五二四噸)、連勝(三四三噸)等を所有し、一箇月平均配船數約十

隻五千噸位

商號 大通公司 (華商)

資本金 大洋二十五萬元

設立年月 民國十一年 (前身を商船公司と稱せり)

營業 天津、龍口、煙臺、大連等に至る航路を自營す

船業 興順(四五〇噸)、和順(四九六噸)、隆順(五四三噸)を所有し、一箇月平均配船數約八隻四

千噸位

商號 輪船招商局 (華商)

資本金 大洋二千五百萬元

設立年月 民國元年六月出張所開設 (以前は英商源來盛にて代理營業)

營業 専ら南支中支方面との航運に従事す

船業 當港に配船さるゝものは所有船圖南(九四二噸)、公平(一、七四二噸)、飛鯨(九八〇噸)等を

主とし一箇月の平均入港數二隻位

商號 政記公司 (華商)

資本金 大洋一千萬元

設立年月 民國六年三月出張所開設

營業 營口を基點とし渤海沿岸及南支方面に配船し、龍口間には定期航路を營む

船業 同利(八八二噸)、茂利(一、二〇九噸)、福利(八五九噸)、公利(三四〇噸)、純利(六六四噸)、

成利(八三八噸)、泰利(一、〇四四噸)、勝利(五七三噸)、廣利(六四六噸)等の所有船出入し
一箇月平均入港數六隻位

營口海運合資會社 (邦商)

金三萬圓

昭和三年三月一日

岡崎汽船會社の代理店にして、天津、門司、大阪、神戸、横濱、雄基等に不定期配船

八千代丸(一、三七三噸)、しみづ丸(一、二七四噸)、第八萬榮丸(一、一八〇噸)、永安丸(一、

二〇五噸)、第三萬世丸(一、一四六噸)、第一久美愛丸(一、一九〇噸)、玉榮丸(九三七噸)、

日福丸(一、二七八噸)等の諸船就航、一箇月平均入港數四、五隻

國際運輸株式會社營口支店 (邦商)

金一千萬圓

大正十五年八月支店開設

代理營業なり、代理船主並に航路は次の如し

大連汽船會社——天津、大連、阪神、門司に至る

日清汽船會社——上海、青島に至る

大阪商船會社——日本内地及支那沿岸

大連汽船——内地行、長順丸(三、五九四噸)、第六眞盛丸(五、五五〇噸)

天津行、博進丸(二、〇四〇噸)、一進丸(二、一七〇噸)、平龍丸(二、〇〇〇噸)、

正和丸(二、〇一五噸)

日清汽船——巴陵丸(二、六〇〇噸)、大清丸(二、四〇〇噸)但し配船稀なり

大阪商船——最近入港なし

三井物産株式會社牛莊出張所 (邦商)

金一億圓

明治二十五年出張所設置

日本、南支、揚子江一帶に自營不定期航路を有す

桂城山丸(二、四二八噸)、三天丸(一、二二一噸)、三長丸(一、二二五噸)、高雄山丸(二、〇七

九噸)、六甲山丸(二、一七二噸)、高野山丸(一、九九八噸)、富士山丸(一、九四四噸)等當港

に配船され一箇月平均一、二隻

東和公司 (邦商)

資本金 金五萬圓

設立年月 明治四十二年

山下汽船會社、帝國汽船會社の代理店をなし、日本内地支那沿岸及揚子江方面に運航す

帝國汽船——鹿山丸(一、〇四七噸)、大成丸(一、八二四噸)、大通丸(一、二二〇噸)、大隆丸

(二、二〇九噸)、甲子丸(二、一九五噸)、遠江丸(三、三五九噸)、大慶丸(二、七

九一噸)等出入し、一箇月平均一、二隻

山下汽船——最近の取扱船なし

滿鐵販賣課營口販賣所

昭和三年四月より船舶代理開始

大連汽船會社の石炭輸送に對する代理營業をなす配船は内地及支那沿岸一帶に不定期配船

袖ヶ浦丸(八三〇噸)、三長丸(七二二噸)、古城丸(九五七噸)、濟平丸(一、九一七噸)、新屯

丸(八八八噸)等の扱船ありたるも業務開始以來短日月なれば一箇月平均出入船隻未詳

太古洋行 (John Swire & Sons, Ltd.) (英商)

支那航業部は五十萬磅

設立年月 西曆一八九〇年

上海に定期航路を有し、天津及南支との航運も自營す

所有船、嘉興、湖北、九江、廣西、北海、福州、山西、鎮江、甘肅、成都、天津、漢陽、

寧波、長州、宜昌、重慶、直隸、浙江、南寧、湖南等千噸内外の船舶を適宜配船し一箇月

入港數平均十三隻、その噸數一萬二千噸位

怡和洋行 (Jardine, Matheson & Co. Ltd.) (英商)

資本金 約五十萬磅

設立年月 西曆一九〇五年

印度支那航業會社の船舶を運航す、その他外國汽船の取扱もなす

主として樂生(九七九噸)、德生(九七七噸)、裕生(一、二二二噸)を配船し、他社の扱船も合

して一箇月平均入港數一隻一千噸位

旗昌洋行 (英商)

資本金 十五萬圓

設立年月 西曆一八六二年

營業

日本郵船、近海郵船其他外國海運會社の代理營業なり。扱船は日本、大連、上海、天津、歐洲、南洋、米國等に至る。最近日本郵船は代理契約解除の様様なり

船

郵船會社の配船は一箇月四、五隻、外國船は二箇月一隻見當、平均一箇月扱船噸數五千噸位

此の外源來盛(英商)、德茂洋行(獨商)等外國船舶代理店がある。

第三節 安東港の海運業者

安東港の海運が鴨綠江材の支那沿岸向輸送を主とすること第一章第三節に於て叙述せる如くであるが、之に對し確固たる地盤を有するものは大連汽船及政記公司である。

大連汽船は社船として安東、大連、天津間に定航路を有し、天潮丸、濟通丸を以て月二航海をなさしむる外一進丸、博進丸等をも配船しつゝある。昨昭和二年度の同社船入港數は五十五隻總噸數七萬餘噸であつた。

尙同社は在芝罘華商鹿玉軒の代理營業として、安東、芝罘、龍口航路に北海號海寧號の二隻を扱ひ、平均一箇年(四月—十一月)四十乃至五十航海である。

政記公司はその所有船(勝利、宏利、有利、得利、廣利、新利、生利、安利、成利、増利等)又は傭船(津輕丸、御影

丸、久美丸等)を適宜天津、山東方面(芝罘、威海衛、青島、龍口、西口)に運航し大連汽船と共に安東海運業の雙璧である。

英商太古洋行は上海方面の航路に従事せるも重視すべきものはない。先年まで鈴木商店、三上汽船等の木材輸送割込ありしも不振の爲か手を引いたといふ。蓋し天津揚貨物の如きは荷役の關係上自家埠頭の有無が多少の運賃安の魅惑を減殺したに因るのであらう。

尙大汽、政記兩社の間には默契的協定あるものゝ如く表面的には運賃競争の如きものはない。

この外、日本内地航路、主として關門阪神方面への航運を營むものに朝鮮郵船並に大阪商船がある。前者は内國通運株式會社支店に於て、後者は國際運輸株式會社支店に於て夫々代理營業する處である。

朝鮮郵船の配船は札幌丸、慶州丸、原田丸、天安丸、漢口丸、東瀛丸、春泰丸、浦安丸等にして配船數一箇年約四十隻六萬噸内外である。

大阪商船は神安丸、千山丸、四川丸、平和丸、東都丸、最上丸、朝香丸、福州丸、室蘭丸等にて配船數一箇年二十隻三萬噸内外である。

以上を要するに安東の海運市場は木材輸送を主とする支那沿岸航路に大汽、政記の二社あり、日本への雜穀輸出入に日本よりの雜貨輸入に當る朝鮮郵船及大阪商船あるに過ぎない。而して又これで充分であるとも云へる。何んとなれば市場の大小は結局その地の經濟的環境の然らしむる處であるからである。

昭和三年十二月十五日印刷
昭和三年十二月二十日發行

編輯
兼
發行人

南滿洲鐵道株式會社庶務部調查課
佐田弘治郎

印刷人

大連市東公園町二十一番地
吾妻力松

印刷所

大連市東公園町二十一番地
滿洲日報社印刷所

發行所 南滿洲鐵道株式會社

終